

# 統計からみたやまなし

## しらすのミッケではけん!!

### きかけ

あたしは、ほかの魚がまがっているしらすをたべるのが好きです。  
なのでどんな魚オどのくらいまがっているか数えてみました。

### まとめ

入っていたしらすいかにの魚

いばらき県  
正正正  
正正正正  
正正正正

しずおか県  
正正正  
正正正正

ひろしま県  
正正正  
正正正正  
正正正正

### しらす

- ① 3か所のスーパーでしらすを買った。
- ② しらすいかにの魚をさがしてあげた。
- ③ それぞれの魚の数を数えた。
- ④ タブレットや虫めがねで魚のしるいをしらす。
- ⑤ グラフにまとめる。

1 しらす(イワシ)の近くにはアジやあまえびがたくさんおよんでいることがわかった。

2 色々な魚がまがっているところが多いとわかった。スーパーでうられる前により分けられていることをテレビでみたことがあった。

3 生きているものをつまみ食いして、しらす(イワシ)だけ食べ残し。ほかの生き物は、ゴミになって捨てられてしまっている。かわいそうだと思う。

しるい	数	0	5	10	15	20	25	30	35	
あじ	32									32
あまえび	24									24
いか	4									4
かにの子	10									10
たこ	17									17
長い魚	1									1
ぼら	1									1

# 山梨県のシンボル

## 県の鳥 うぐいす



春を告げる鳥として親しみ愛される鳥で、他の鳥のひなを育てるという習性を持っているため「明朗と慈愛」を表しています。昭和39年6月制定

## 県の木 かえで



その葉は、秋、霜をうけて紅葉します。その様は「山々の男ぶり見よ甲斐の秋」（虚子）などによまれています。昭和41年9月制定

## 県の花 ふじざくら



きびしい富士の雪風に耐えて、つつましやかに咲く花は「和と忍耐」を表しています。昭和29年制定

## 県の獣 かもしか



高山のきびしい自然に耐えて生きているところが「忍耐・努力」を表しています。昭和39年6月制定

# 山梨県ロゴマーク



YAMANASHI

# 目次

山梨ってどんな県？ ..... 2

## グラフでみるやまなし

自然・気象 ..... 4

人口 ..... 5

経済 ..... 7

事業所 ..... 8

工業 ..... 9

商業 ..... 11

農業 ..... 12

労働 ..... 13

物価 ..... 14

家計 ..... 15

福祉・医療 ..... 16

社会生活 ..... 17

教育 ..... 18

交通・通信・エネルギー ..... 19

観光・国際交流 ..... 20

居住環境 ..... 21

災害・事故 ..... 22

統計グラフコンクール入賞作品集 ..... 23

## 表紙の説明

「しらすのミッケではっけん！！」

「第71回山梨県統計グラフコンクール」知事賞の山梨学院小学校2年 長安 紀京さんの作品です。

# 山梨ってどんな県？

全国順位上位3以内の主なものを  
分野別に掲載しました。

## 自然

### ■日照時間(年間)



令和4年度  
全国3位 2,298.1時間

資料：統計でみる都道府県のすがた2024（総務省統計局）

## 文化・スポーツ

### ■図書館数(人口100万人当たり)



令和3年度  
全国1位 65.8館

資料：統計でみる都道府県のすがた2024（総務省統計局）

### ■多目的運動広場数(公共) (人口100万人当たり)



令和3年度  
全国3位 162.7施設

## 居住

### ■着工新設持ち家比率 (対着工新設住宅戸数)



令和4年度  
全国2位 63.0%

資料：統計でみる都道府県のすがた2024（総務省統計局）

### ■大型小売店数(人口10万人当たり)



令和3年度  
全国1位 17.52店

## 安全

### ■消防水利数(人口10万人当たり)



令和4年度  
全国2位 3,838.8所

資料：統計でみる都道府県のすがた2024（総務省統計局）

## 労働

### ■高齢就業者割合 (65歳以上)(対65歳以上人口)



令和2年度  
全国2位 29.8%

資料：統計でみる都道府県のすがた2024（総務省統計局）

## 健康・医療

### ■保健師数(人口10万人当たり)



令和2年度  
全国3位 80.2人

資料：統計でみる都道府県のすがた2024（総務省統計局）

### ■健康寿命

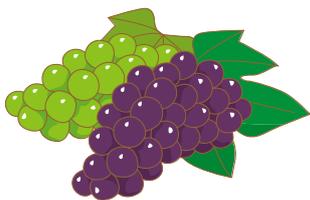


令和元年  
男性全国2位 73.57年  
女性全国2位 76.74年

資料：厚生科学審議会第16回健康日本21（第二次）推進専門委員会

## 農業

### ■ぶどう収穫量(年間)



令和4年  
全国1位 40,800t

### ■もも収穫量(年間)



令和4年  
全国1位 35,700t

### ■すもも収穫量(年間)



令和4年  
全国1位 5,940t

資料：作物統計調査（農林水産省）

農 業

■農産物販売金額1位の部門別  
農業経営体数構成比(果樹類)



令和2年  
**全国1位** 67.7%

資料：農林業センサス(農林水産省)

工 業

■ワイナリー数



令和5年  
**全国1位** 92事業所

資料：酒類製造業及び酒類卸売業の概況(国税庁)

■製成数量  
日本ワイン



令和4年度  
**全国1位** 3,466kl

■出荷額(年間)  
ミネラルウォーター



令和3年  
**全国1位** 523億円

■出荷額(年間)  
数値制御ロボット



令和3年  
**全国1位** 2,110億円

■事業所数  
貴金属・宝石製装身具製品製造業

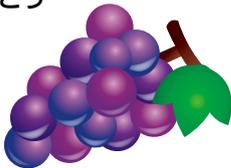


令和4年  
**全国1位** 144事業所

資料：2022年経済構造実態調査製造業事業所調査(総務省・経済産業省)

家 計

■支出金額(1世帯当たり年間)  
ぶどう



令和2年～令和4年平均  
**全国1位** 6,632円

■支出金額(1世帯当たり年間)  
あさり



令和2年～令和4年平均  
**全国1位** 871円

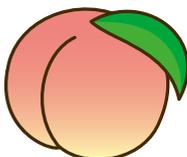
■支出金額(1世帯当たり年間)  
まぐろ



令和2年～令和4年平均  
**全国2位** 8,885円

資料：家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング(統計調査課)

■支出金額(1世帯当たり年間)  
桃



令和2年～令和4年平均  
**全国2位** 3,113円

■支出金額(1世帯当たり年間)  
やきとり



令和2年～令和4年平均  
**全国2位** 3,743円

資料：家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング(統計調査課)

社会生活

■1日の食事時間

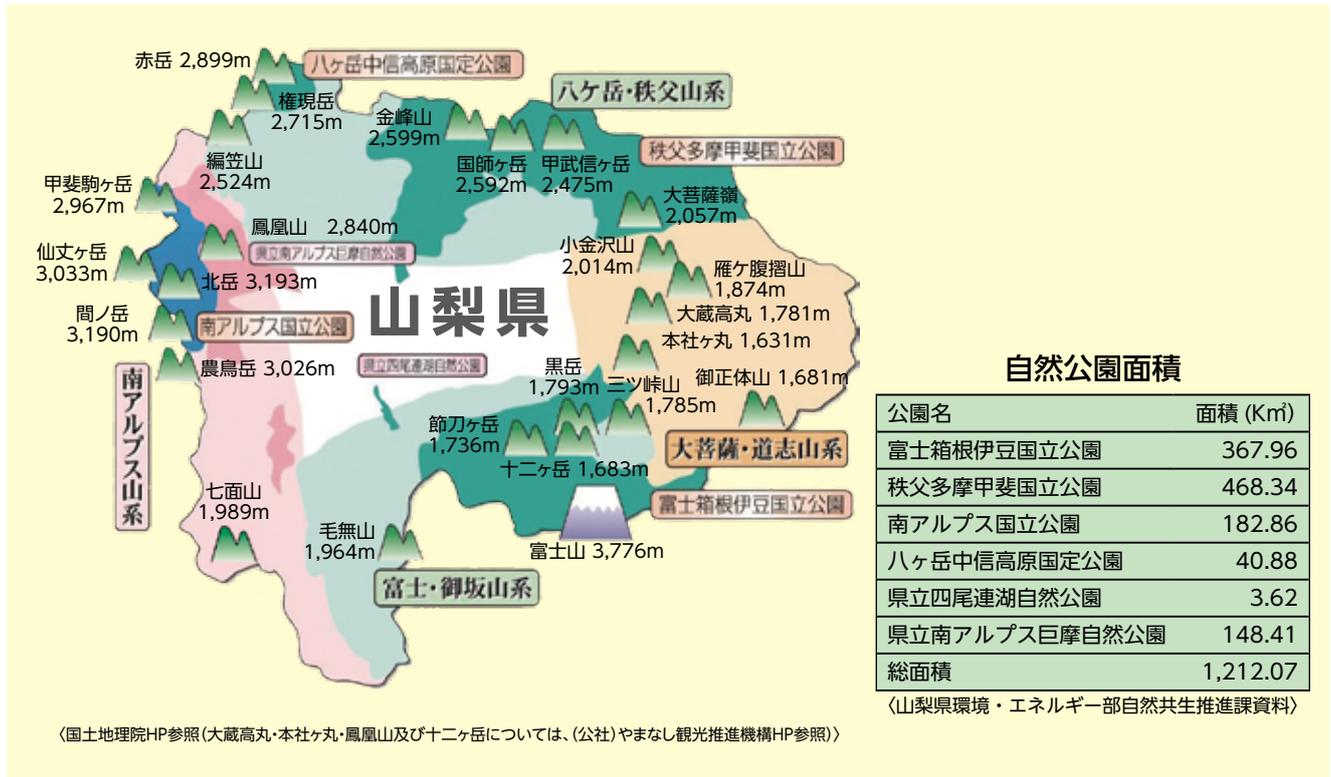


令和3年  
**全国1位** 1時間45分

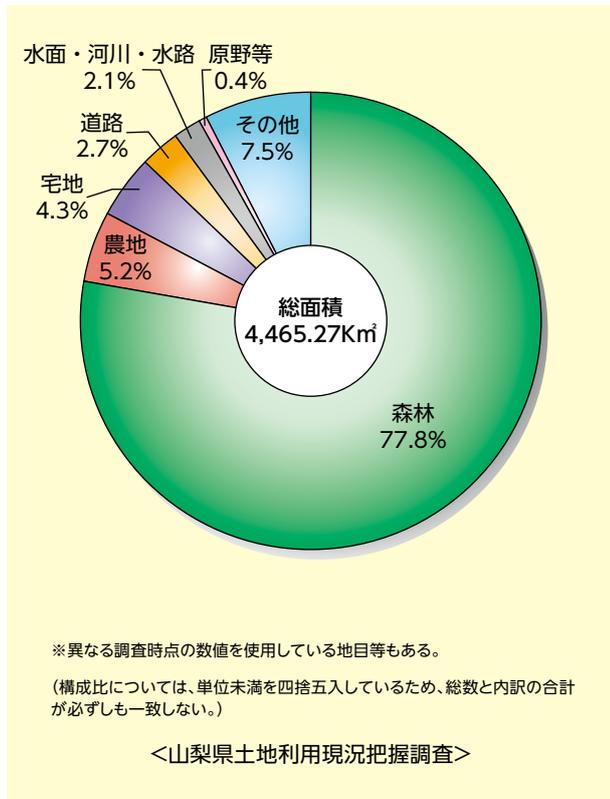
資料：令和3年 社会生活基本調査(総務省統計局)

# グラフでみるやまなし 自然・気象

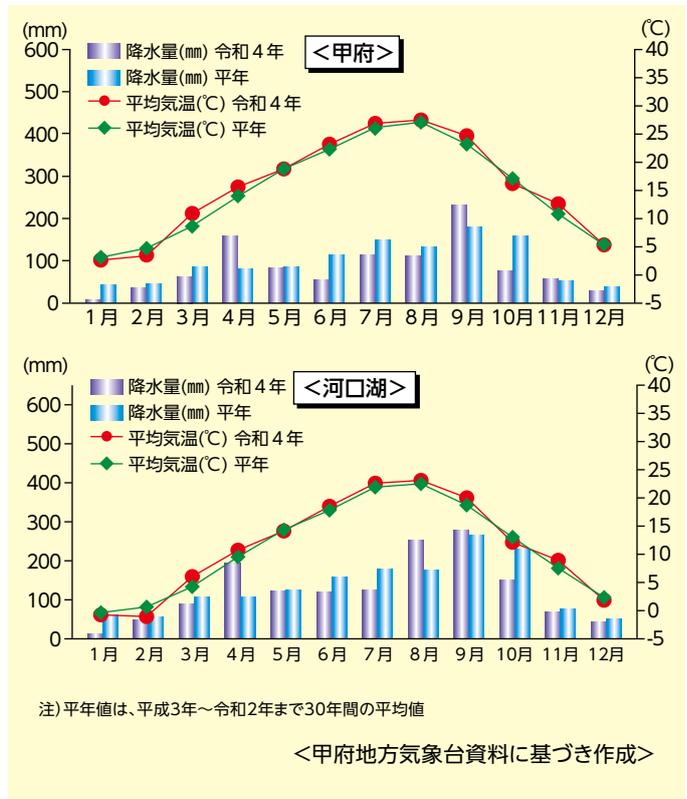
## 主な山梨百名山・自然公園面積



## 山梨県土地利用状況(令和4年10月1日)



## 月別平均気温と降水量(令和4年)

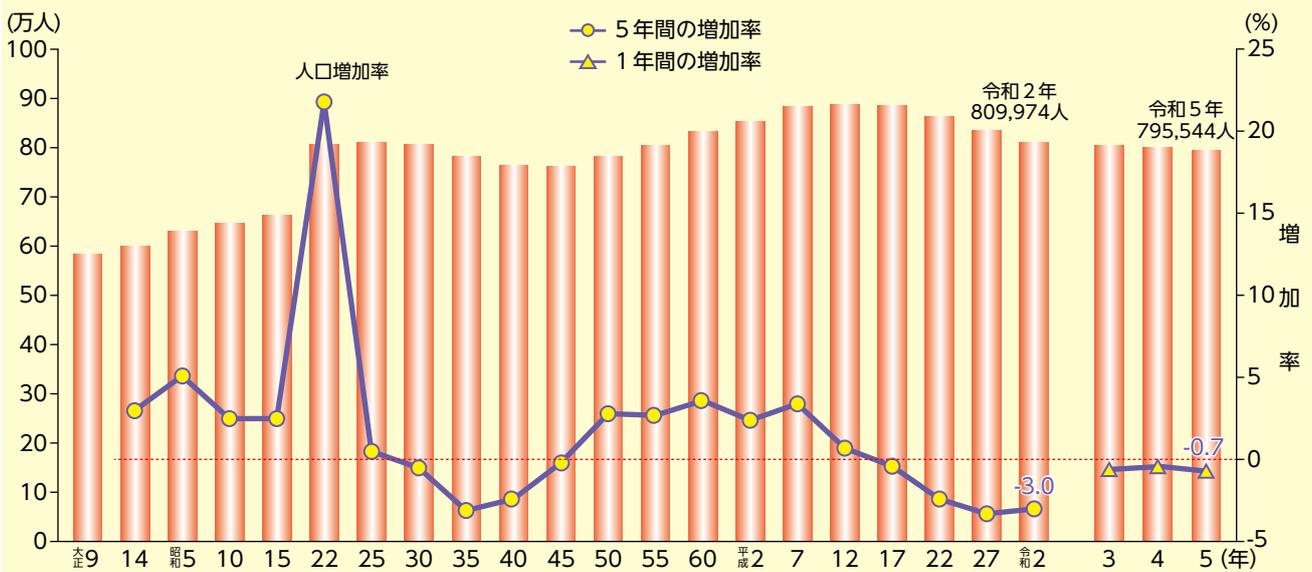


本県は、富士山をはじめ南アルプス、八ヶ岳、奥秩父などを擁する日本でも有数の山岳県ですが、これらの山々の中からハイキングを楽しめる身近な山から本格的な登山向きの山まで多種多様な山を選び「山梨百名山」として紹介しています。

また、従来8月8日をやまなし「山の日」と定め、ふるさとの山や森を見つめ直し、その恩恵に感謝する日としてきました。平成28年からは8月11日が祝日「山の日」となり、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日となりました。

# 人口

## 本県人口及び人口増加率の推移(大正9年～令和5年) (人口は各年10月1日現在)

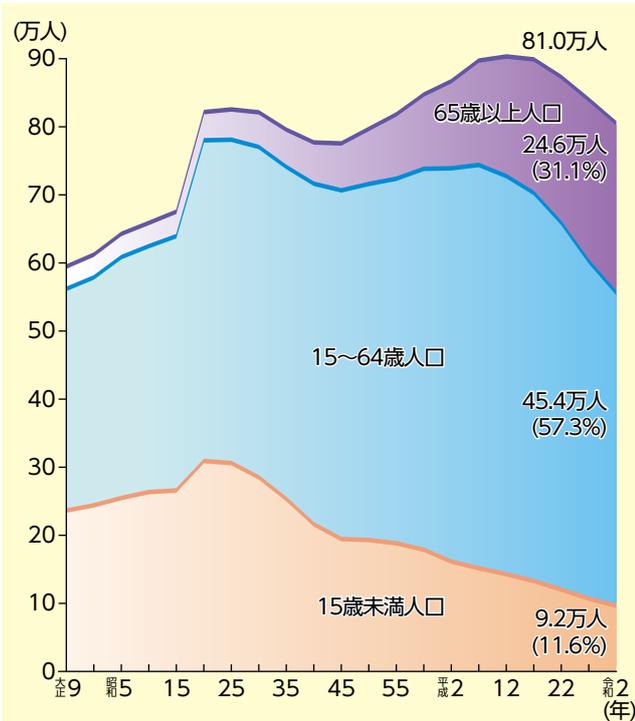


初めての国勢調査が行われた大正9年の人口は583,453人でしたが、以後増加を続け、昭和22年には807,251人と初めて80万人を記録。その後減少したものの、昭和50年からは増加に転じ、平成12年に888,172人と最多となりました。しかし、平成17年には再び減少に転じました。

注)人口増加率は大正9年～令和2年は5年間の数値、令和3年～令和5年は1年間の数値。そのため令和2年と令和3年は接続しない。

<大正9年～令和2年は総務省「国勢調査」、令和3年～令和5年は「山梨県常住人口調査」>

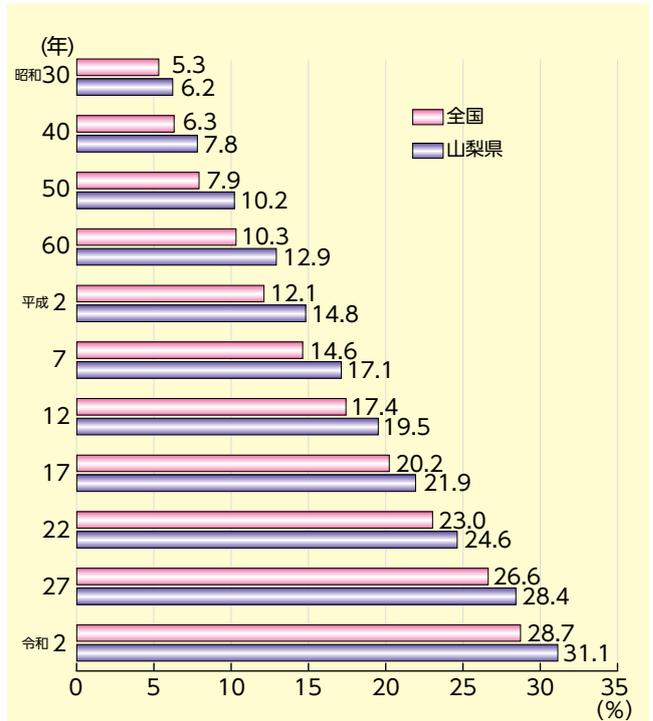
## 年齢別人口の推移(大正9年～令和2年)



注)総数には年齢不詳を含む。

<総務省「国勢調査」>

## 本県と全国の65歳以上人口割合の推移(昭和30年～令和2年)

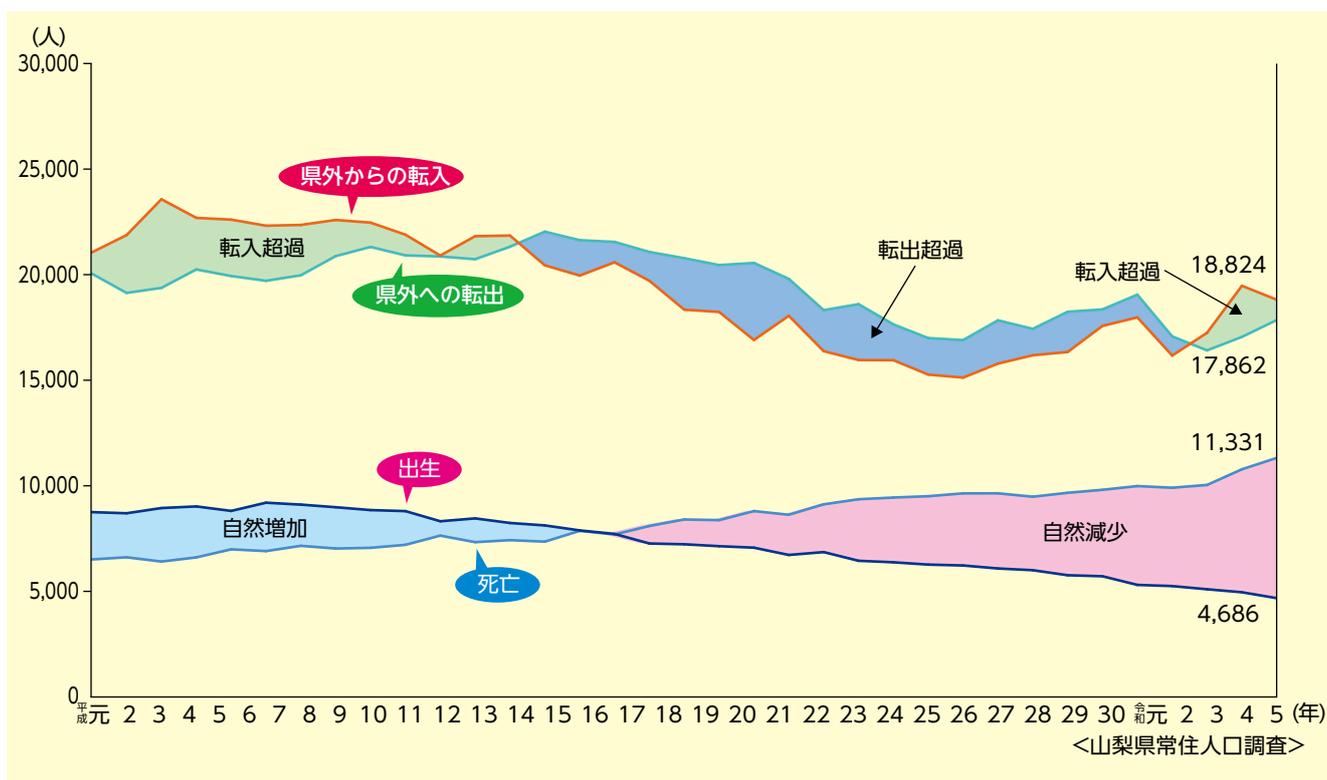


<総務省「国勢調査」>

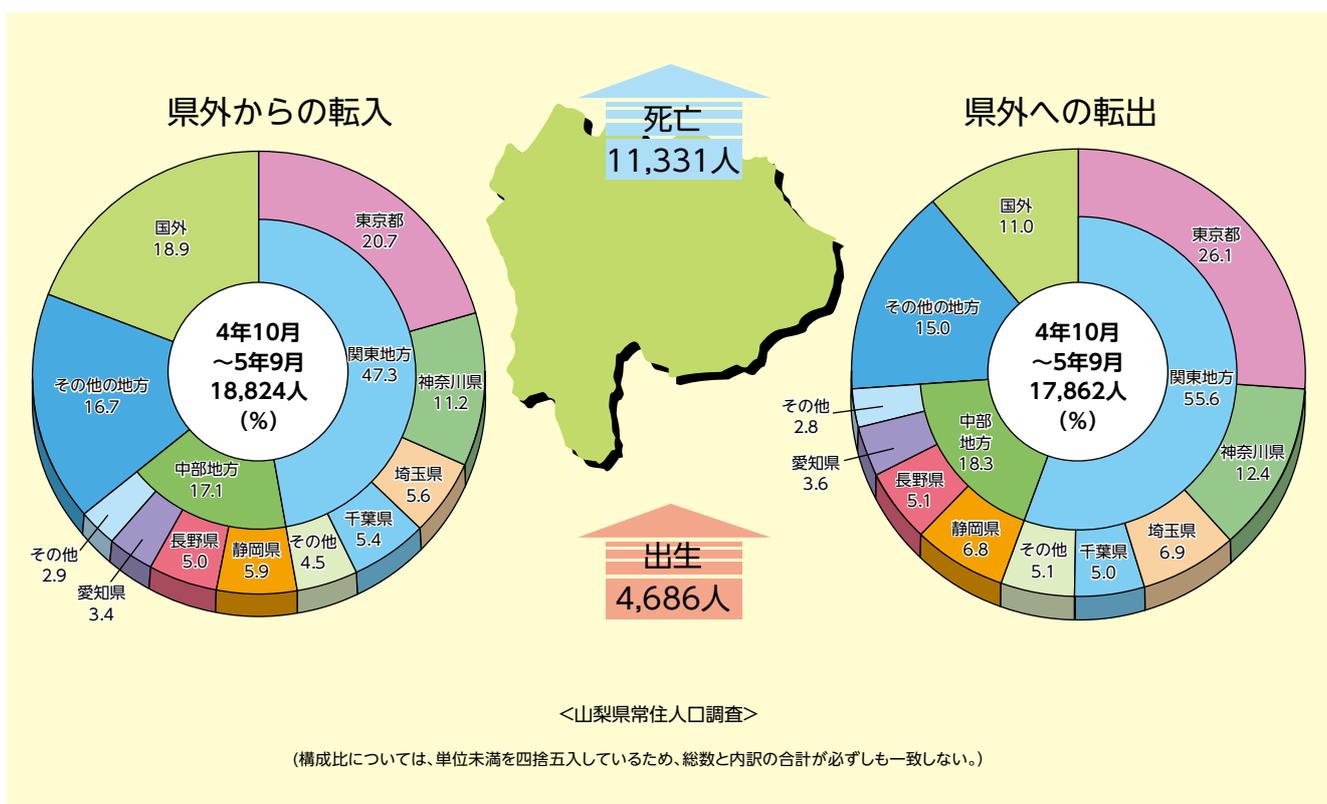
令和5年10月1日現在の人口は、79万5,544人となっています。

令和2年10月1日現在の人口を年齢別にみると、15歳未満人口9.2万人(11.6%)、15歳～64歳人口45.4万人(57.3%)、65歳以上人口24.6万人(31.1%)となっています。本県の65歳以上人口は、平成7年以降は15歳未満人口を上回ることとなり、令和2年では本県人口の4分の1を超えています。また、本県の65歳以上人口割合は、全国を上回る水準で推移しています。

人口動態の推移 (各年ともに前年10月1日～当年9月30日)

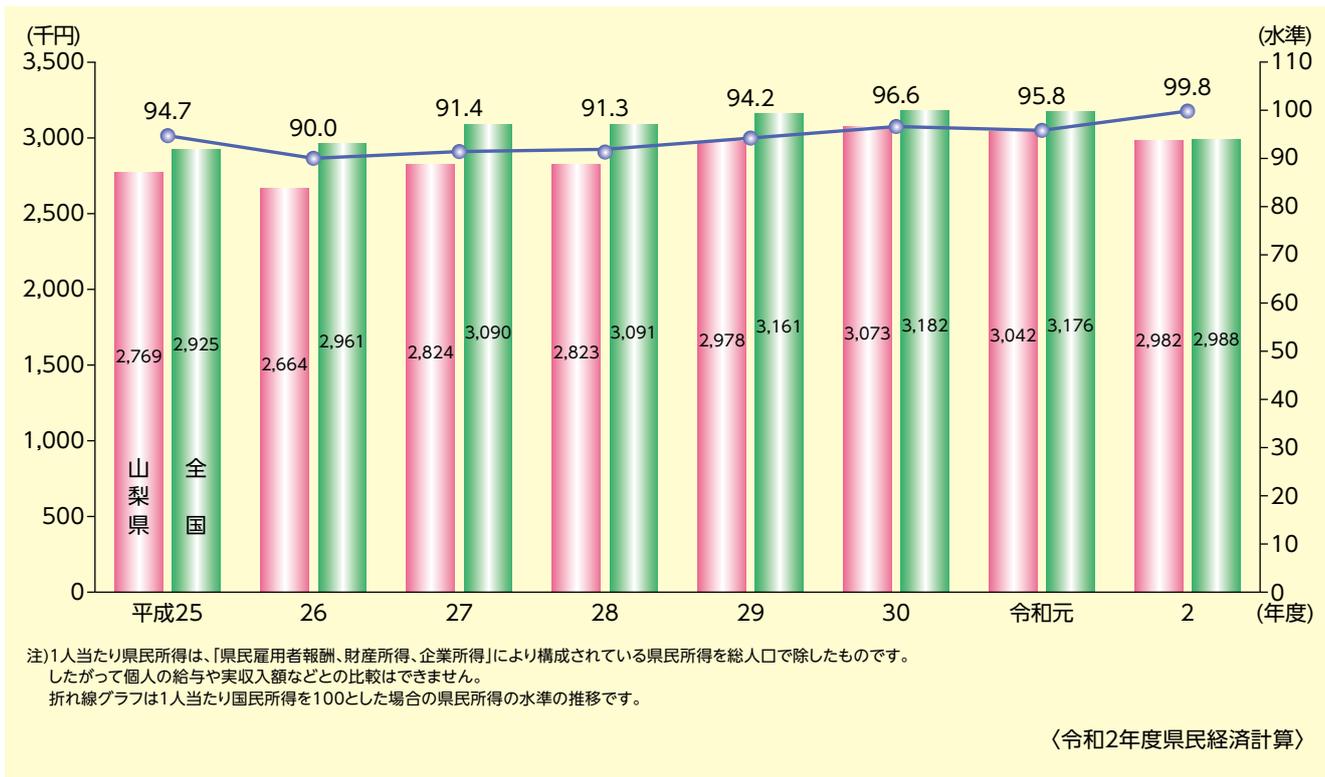


人口動態 (令和4年10月1日～5年9月末)

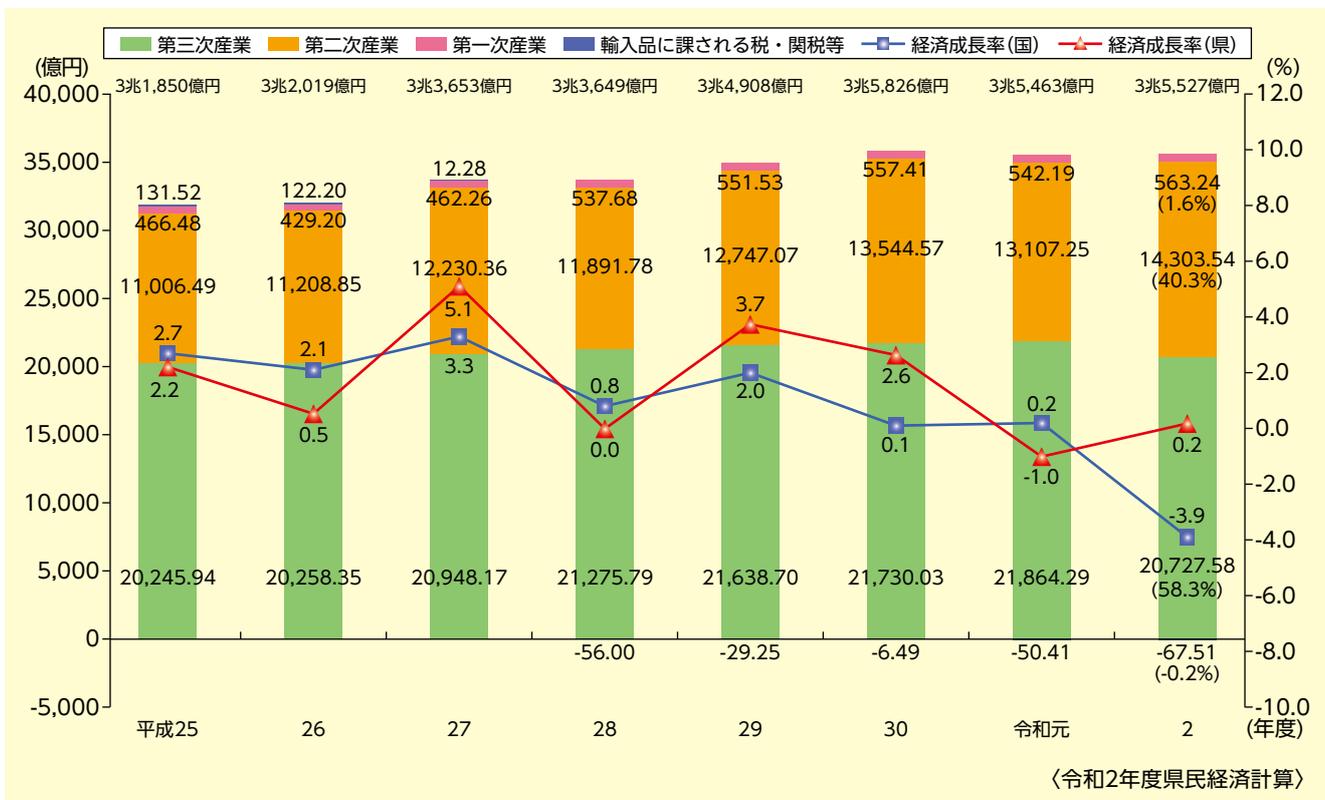


令和4年10月1日から令和5年9月30日までの人口の動きをみると、出生4,686人、死亡11,331人で、6,645人の自然減となっています。また、県外からの転入者は18,824人、転出者は17,862人で、962人の転入超過となっています。また、東京都、神奈川県の転入、転出が多くなっています。

## 1人当たり県(国)民所得と全国との水準の推移



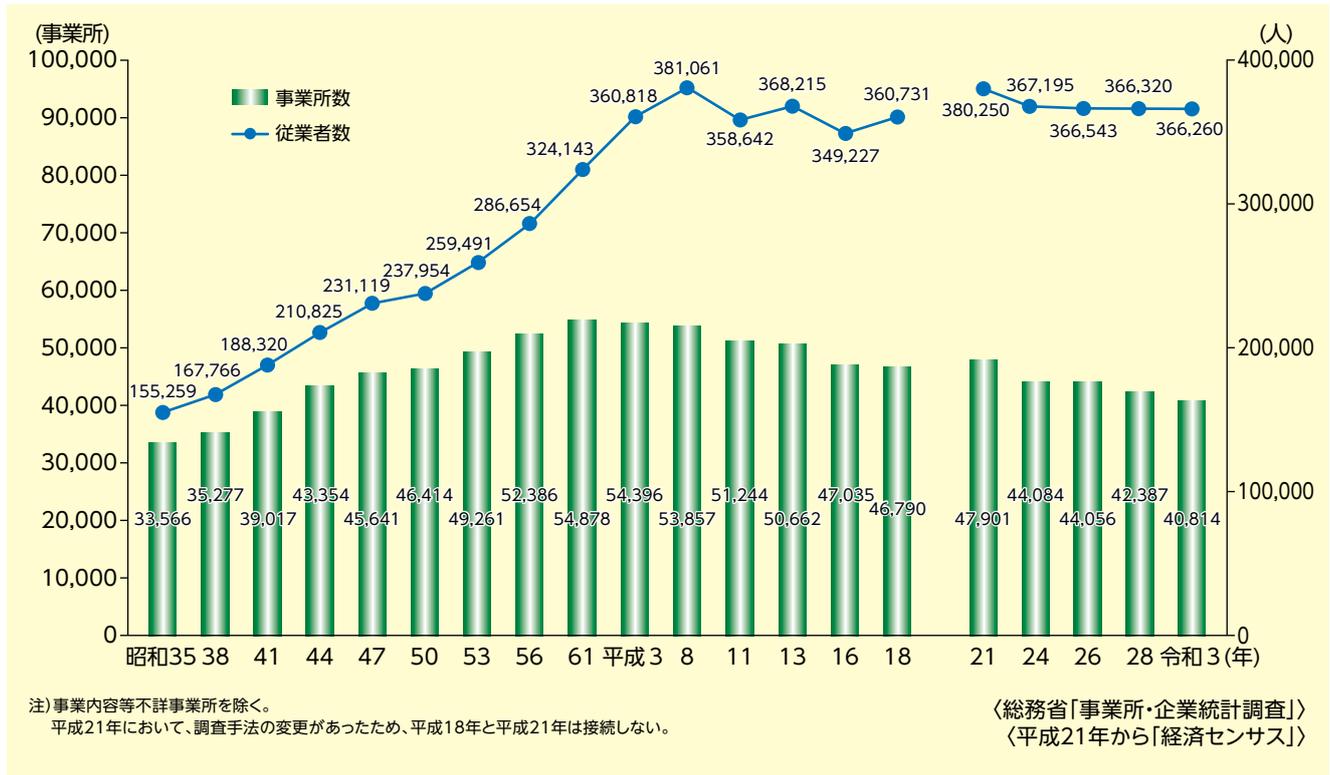
## 県内総生産の推移及び経済成長率の推移(名目)



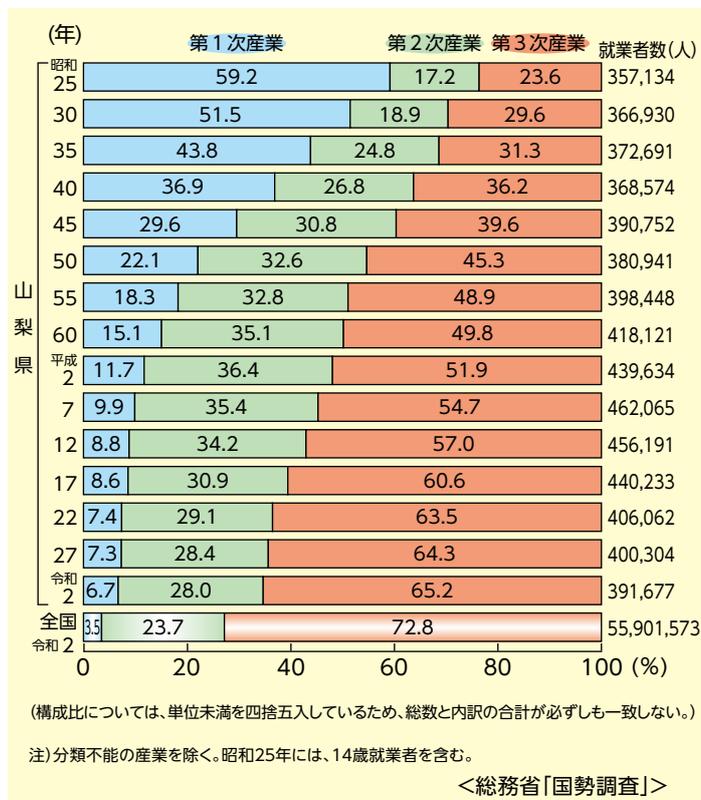
令和2年度の県内総生産は、名目で3兆5,527億円で、前年度に比べて0.2%(64億円)の増加となりました。

1人当たり県民所得は2,982千円で、前年度に比べ6万円減少しました。また、1人当たり国民所得2,988千円を100とした水準は99.8となり、前年度に比べて4.0ポイント上昇しました。

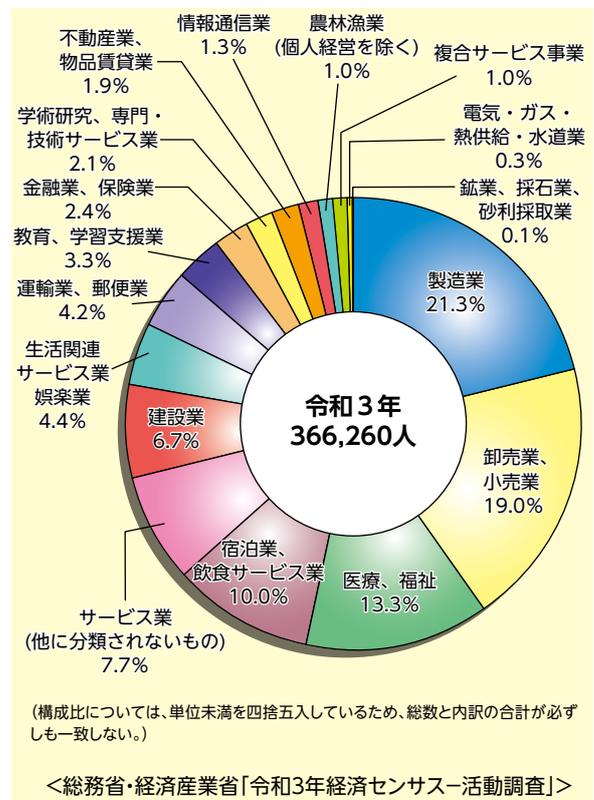
## 民営事業所数及び従業者数の推移



## 産業別(3部門)就業者数(構成比)の推移



## 産業別従業者数構成比

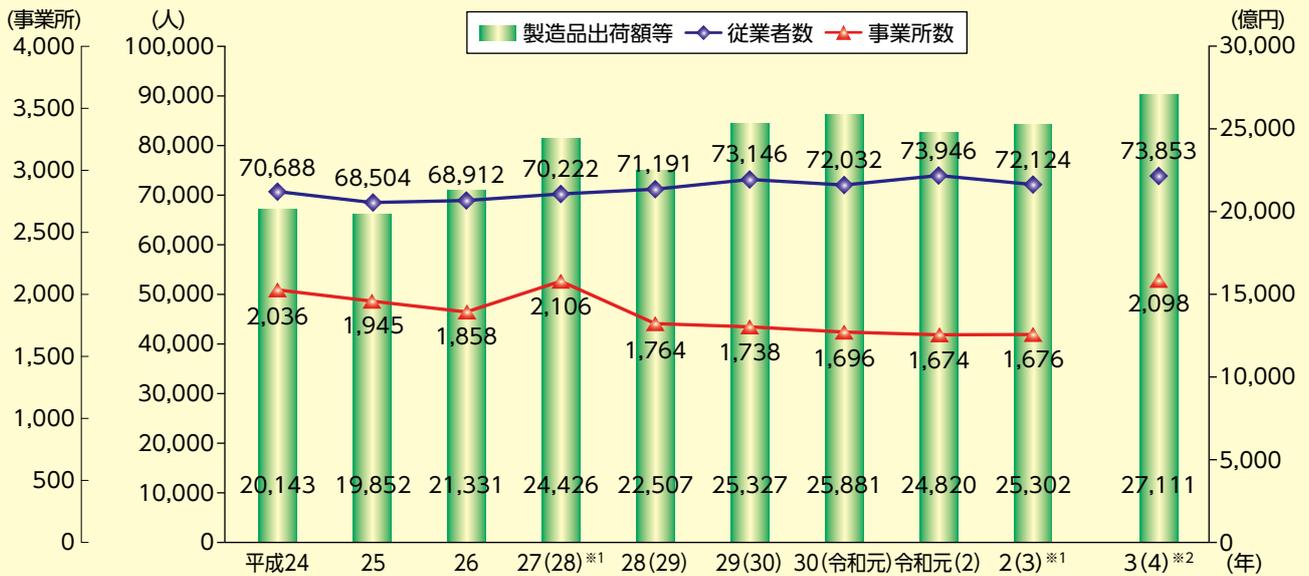


令和3年の事業所数は40,814事業所で、昭和61年までは増加してきましたが、その後減少しています。また、産業別従業者数構成比をみると、製造業21.3%、卸売業、小売業19.0%、医療、福祉13.3%の順となっています。

本県の産業別就業者数をみると、昭和25年は、第1次産業が全体の59.2%を占めていましたが、令和2年は、第1次産業は6.7%にまで減少し、この間に第3次産業が23.6%から65.2%へと増加しています。

# 工業

## 製造業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移



注) 27(28)以降の事業所数・従業者数については、( )内の年次の数値である。

※1印については「経済センサス-活動調査」、※2印については「経済構造実態調査製造業事業所調査」の数値である。

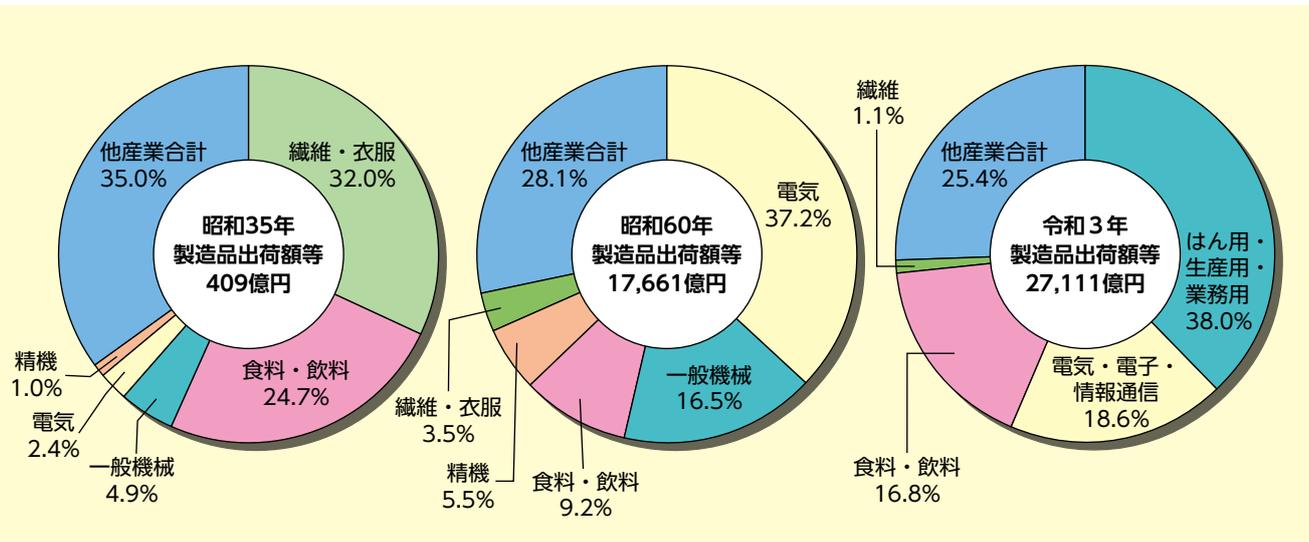
「工業統計調査」、「経済センサス-活動調査」は従業者4人以上の事業所、「経済構造実態調査製造業事業所調査」は個人経営以外の全ての事業所を調査対象としているため、令和2年と令和3年は接続しない。

<経済産業省「工業統計調査」>

<総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」>

<総務省・経済産業省「経済構造実態調査製造業事業所調査」>

## 産業別製造品出荷額等の構成の変化



注1) 平成14年3月の産業分類改定の主な内容として、「電気機械」は「電気機械」、「電子部品・デバイス」及び「情報通信機械」に分割された。

注2) 平成19年11月の産業分類改定の主な内容として、「一般機械」が「はん用機械」、「生産用機械」及び「業務用機械」に分割されるとともに、「精密機械」は「業務用機械」と「その他」に分割された。

注3) 昭和35年、60年の「工業統計調査」は従業者4人以上の事業所、令和3年の「経済構造実態調査製造業事業所調査」は個人経営以外の全ての事業所を調査対象としている。

(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

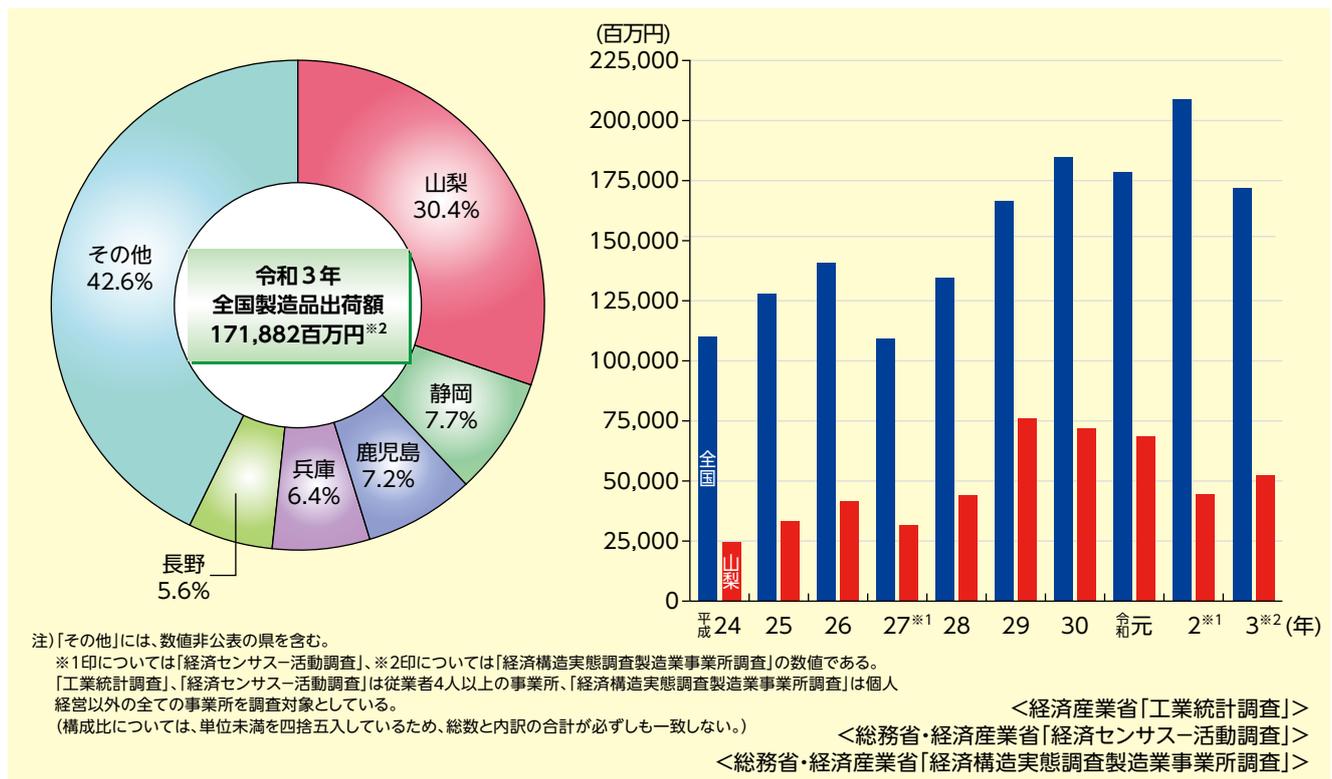
<経済産業省「工業統計調査」>

<総務省・経済産業省「経済構造実態調査製造業事業所調査」>

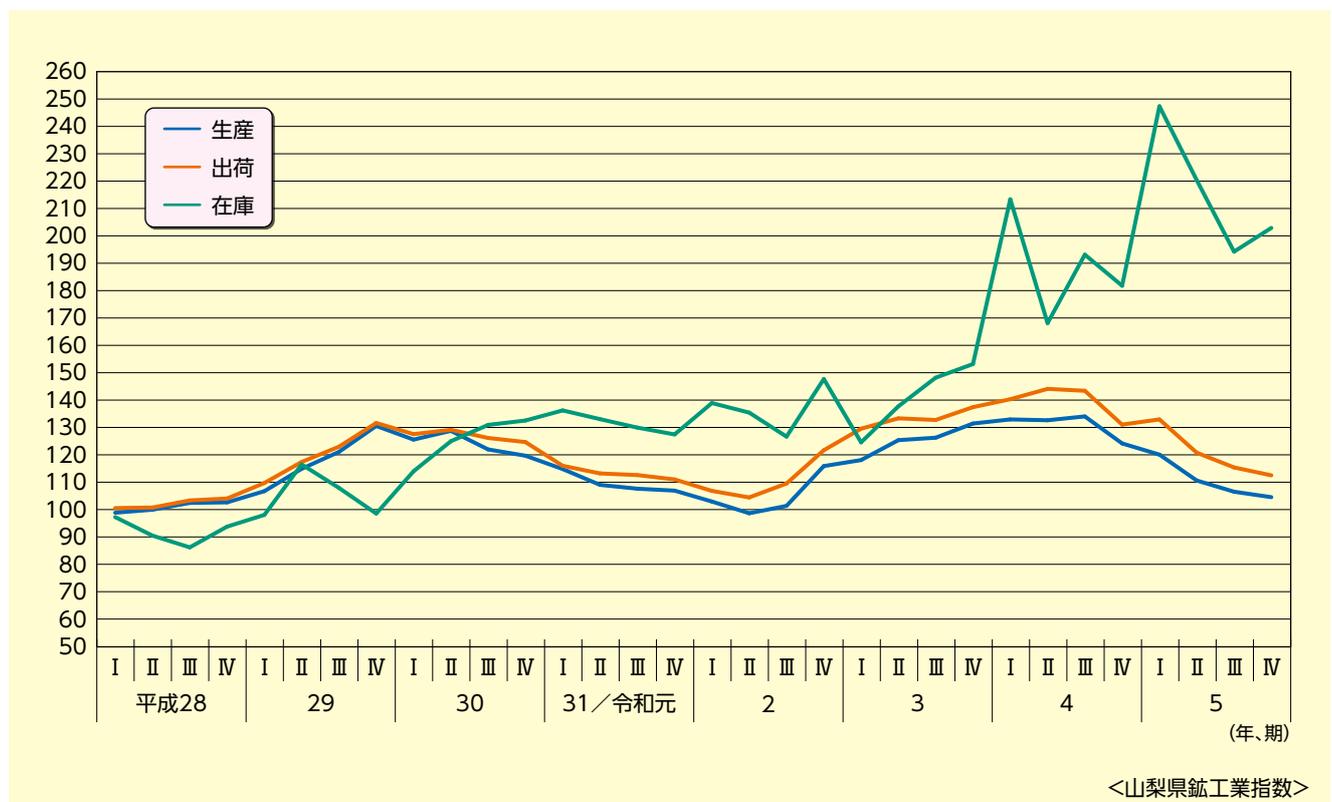
令和4年の個人経営以外の製造業の事業所数は2,098事業所、従業者数は73,853人で、令和3年一年間の製造品出荷額等は2兆7,111億円となりました。

産業分類の改定により単純な比較はできませんが、産業分類別の製造品出荷額等をみると、昭和35年は繊維・衣服が全体の約3分の1を占めていました。令和3年は、はん用・生産用・業務用と電気・電子・情報通信の合計が全体の半数以上を占めています。

### 製造品出荷額全国1位「ミネラルウォーター」出荷額の推移



### 鉱工業指数の推移(平成27年=100 季節調整済)

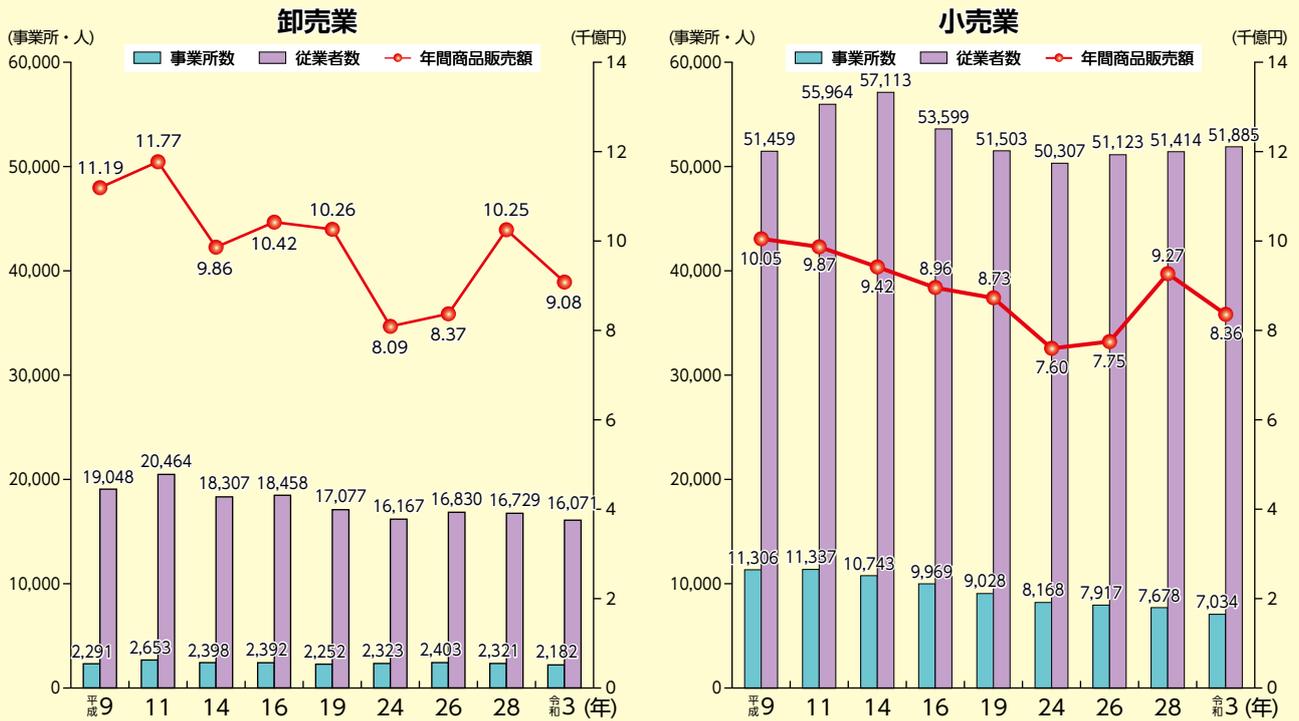


令和3年の品目別製造品出荷額では、「ミネラルウォーター」は523億円で、全国の出荷額の30.4%を占めています。

鉱工業指数の推移をみると、生産及び出荷は、平成28年Ⅱ期頃から上昇を続け、平成29年Ⅳ期から低下傾向となり、令和2年Ⅱ期を境に再び上昇に転じましたが、令和4年Ⅲ期をピークに再び低下傾向にあります。

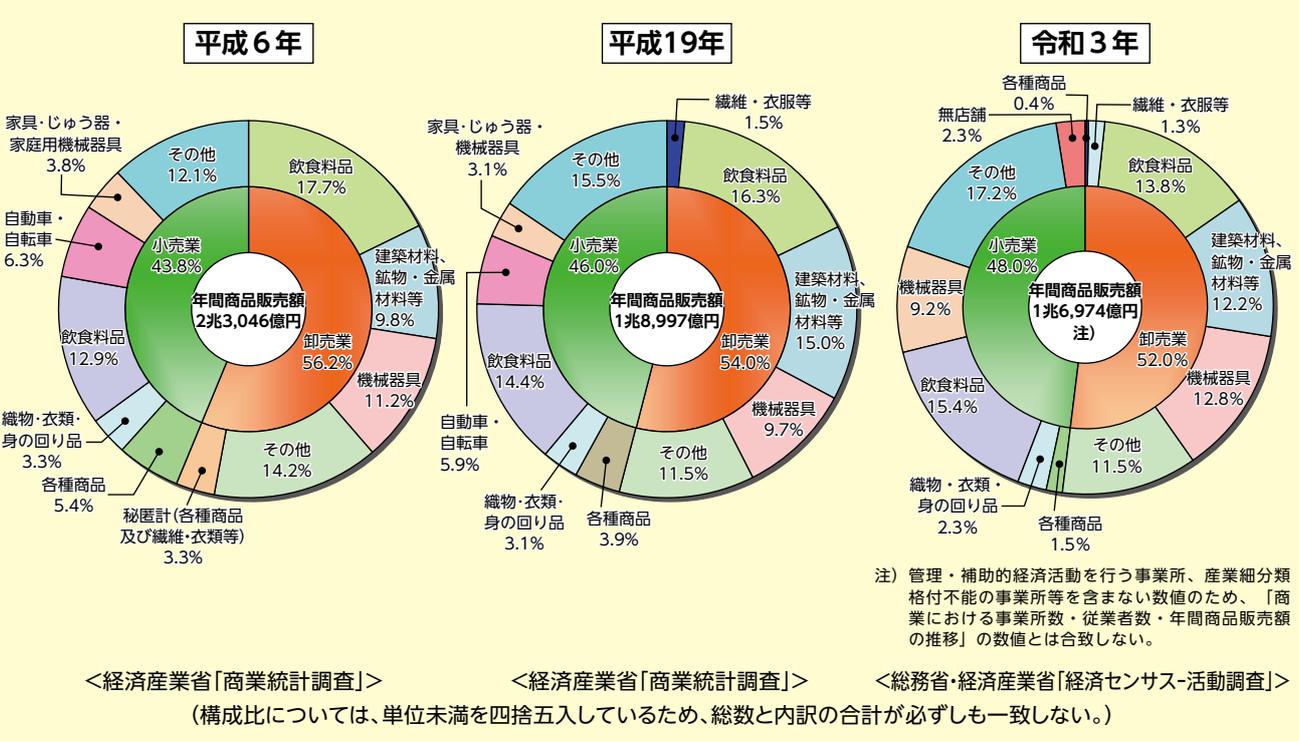
# 商業

## 商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移



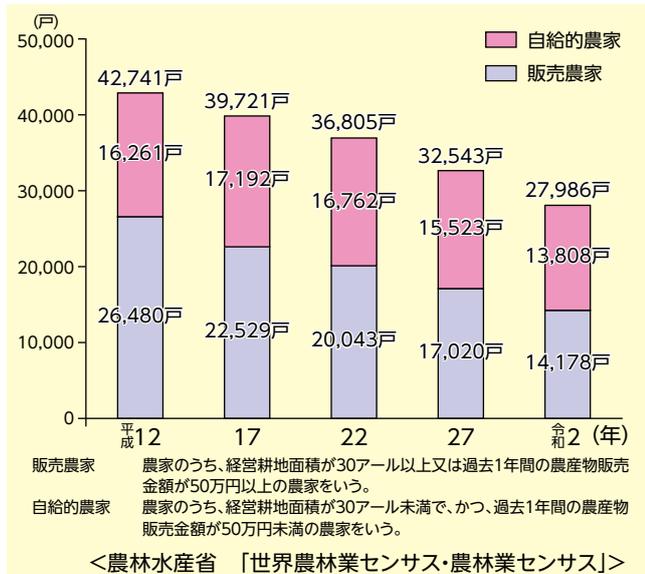
注) 平成19年以前及び平成26年の数値は商業統計調査、平成24年、28年及び令和3年の数値は経済センサス-活動調査の数値である。  
 平成24年、26年、28年及び令和3年の数値は、管理・補助的経済活動を行う事業所、産業細分類の格付不能の事業所等を含む。 <経済産業省「商業統計調査」>  
 年間商品販売額については、単位未満を四捨五入しているため、コメント欄の数値とは必ずしも一致しない。 <総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」>

## 業種別年間商品販売額構成比の推移

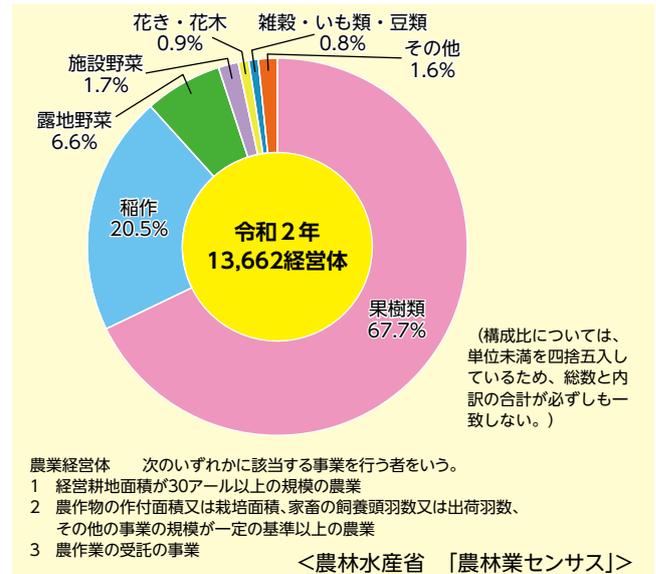


令和3年の卸・小売業数は9,216事業所、従業者数は67,956人、年間商品販売額は1兆7,434億円となっています。  
 業種別年間商品販売額の構成比の推移をみると、卸売業の割合が減少しています。令和3年では無店舗小売業が2.3%となっています。

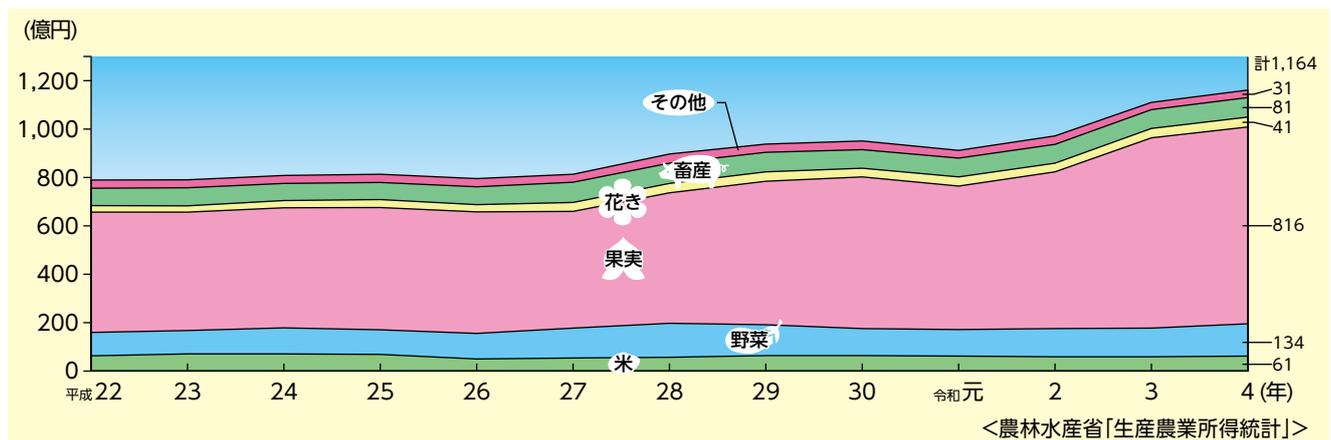
## 農家数の推移



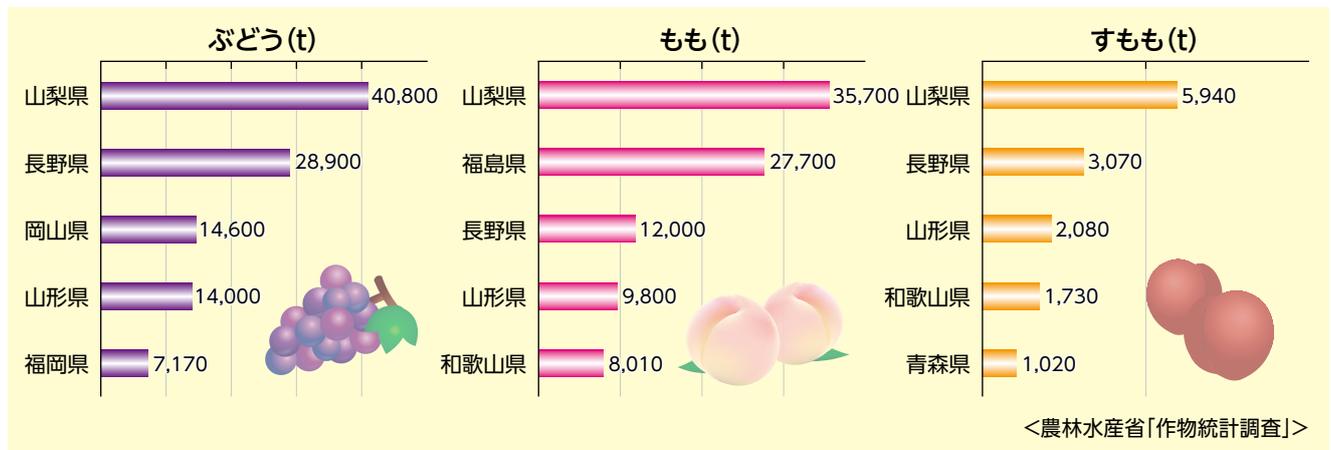
## 農産物販売金額1位の部門別農業経営体数構成比



## 農業産出額の推移



## ぶどう・もも・すももの収穫量(令和4年)

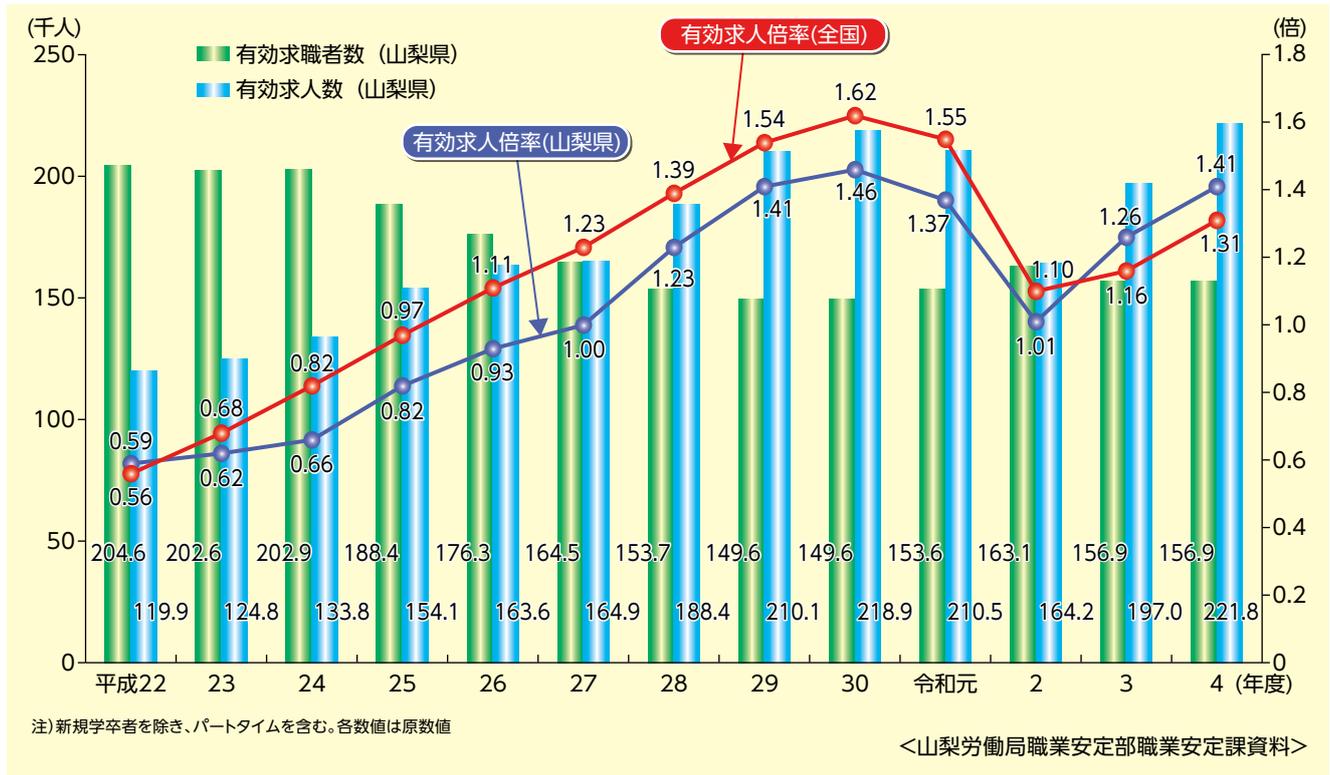


令和2年の本県の農家数は、27,986戸で、平成27年と比べ4,557戸減少しています。また、農産物販売金額1位の部門別経営体数構成比をみると、果樹類が67.7%、稲作20.5%、露地野菜6.6%の順となっています。

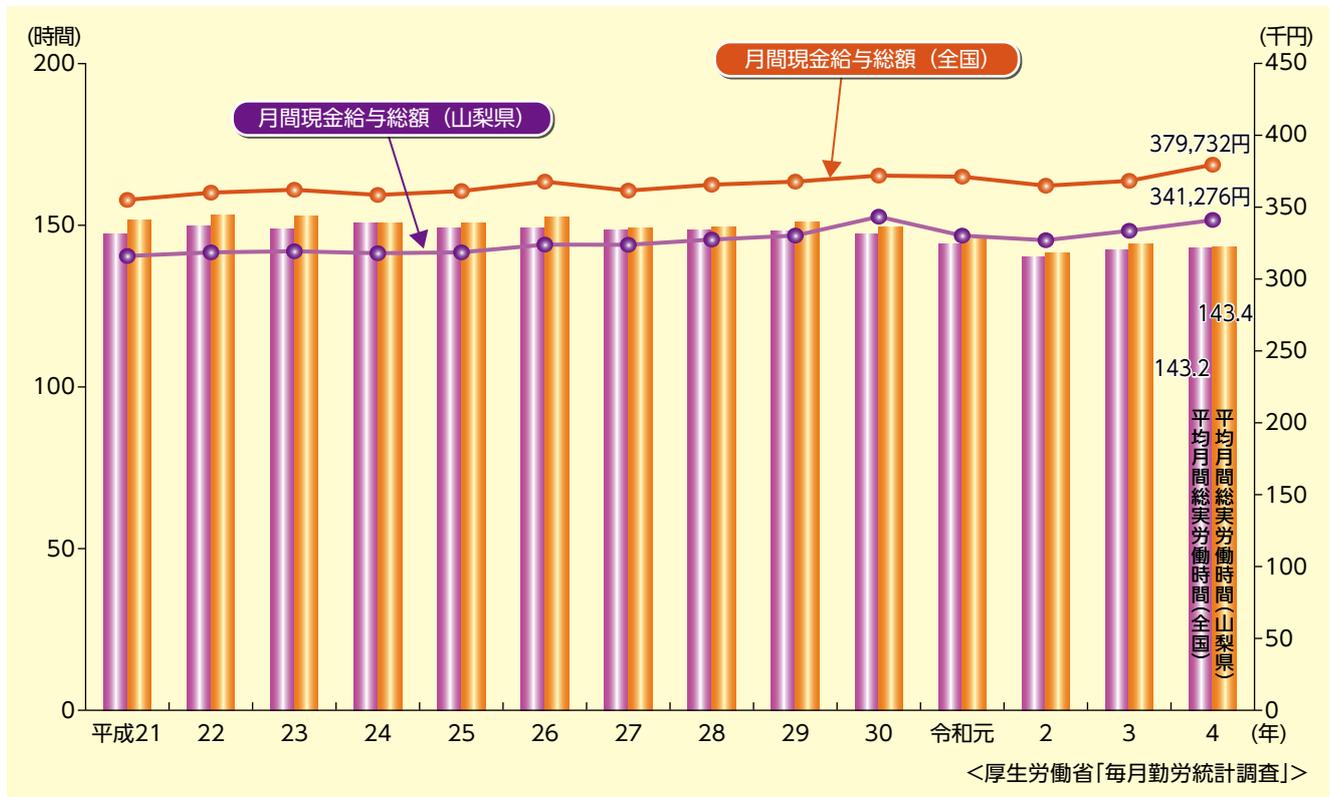
令和4年の農業産出額(1,164億円)の割合は、果実が全体の70.1%を占め、次いで野菜11.5%、畜産7.0%、米5.2%、花き3.5%の順となっています。また、果実のうち「ぶどう」「もも」「すもも」の収穫量は、日本一となっています。

# 労働

## 有効求人倍率・求職者数・求人数の推移



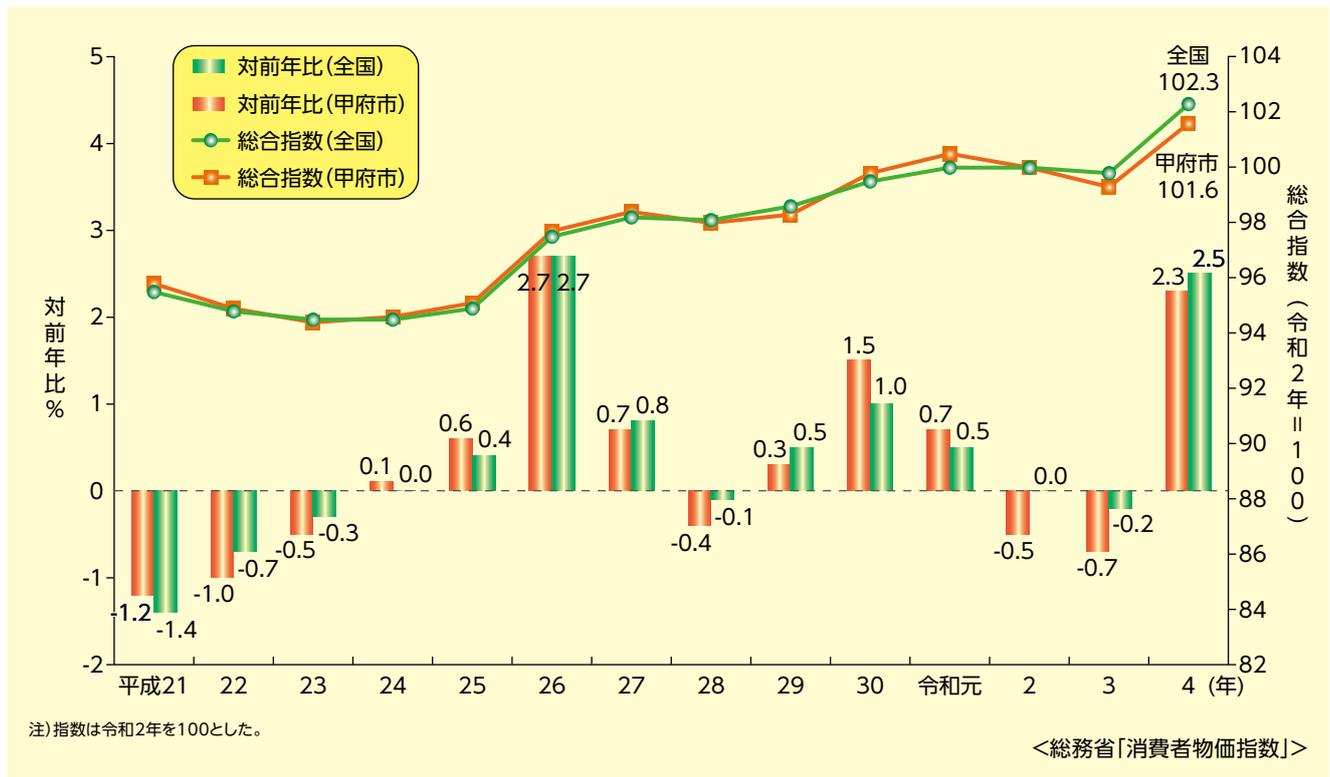
## 労働者1人当たり平均月間総実労働時間と現金給与総額の推移 (30人以上の事業所)



令和4年度の有効求職者数は、15万6,883人で、前年に比べて2人(0.0%)減少、有効求人数は、22万1,816人で、前年に比べて2万4,788人(12.6%)増加、有効求人倍率は1.41倍で、前年に比べて0.15ポイントの上昇となりました。

令和4年の労働時間は、労働者1人当たりの平均月間総実労働時間143.4時間で、全国平均の143.2時間を0.2時間上回っています。一方、月間現金給与総額は、341,276円で全国平均の379,732円を38,456円下回っています。

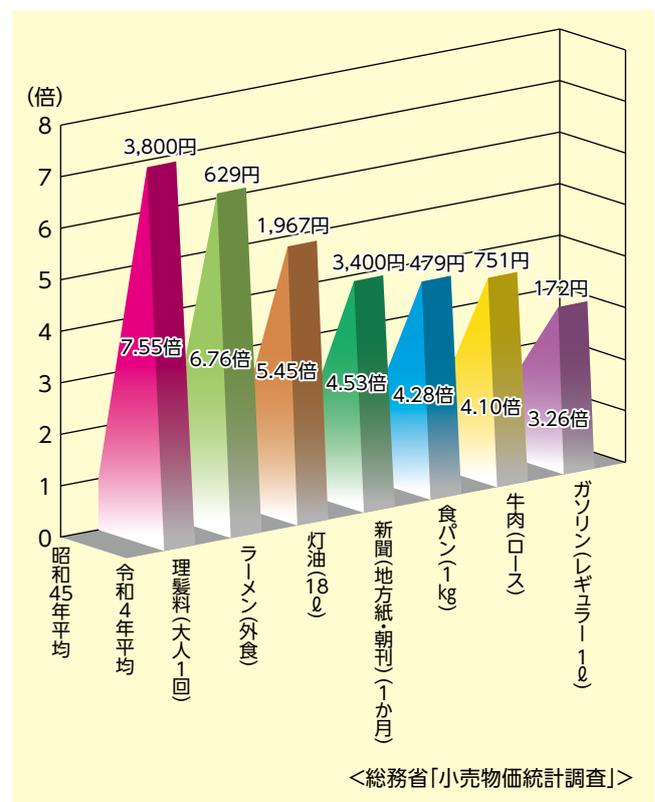
## 消費者物価指数の推移(各年平均)



## 消費者物価地域差指数(令和4年平均)



## 令和4年と昭和45年の小売物価の比較(甲府市)

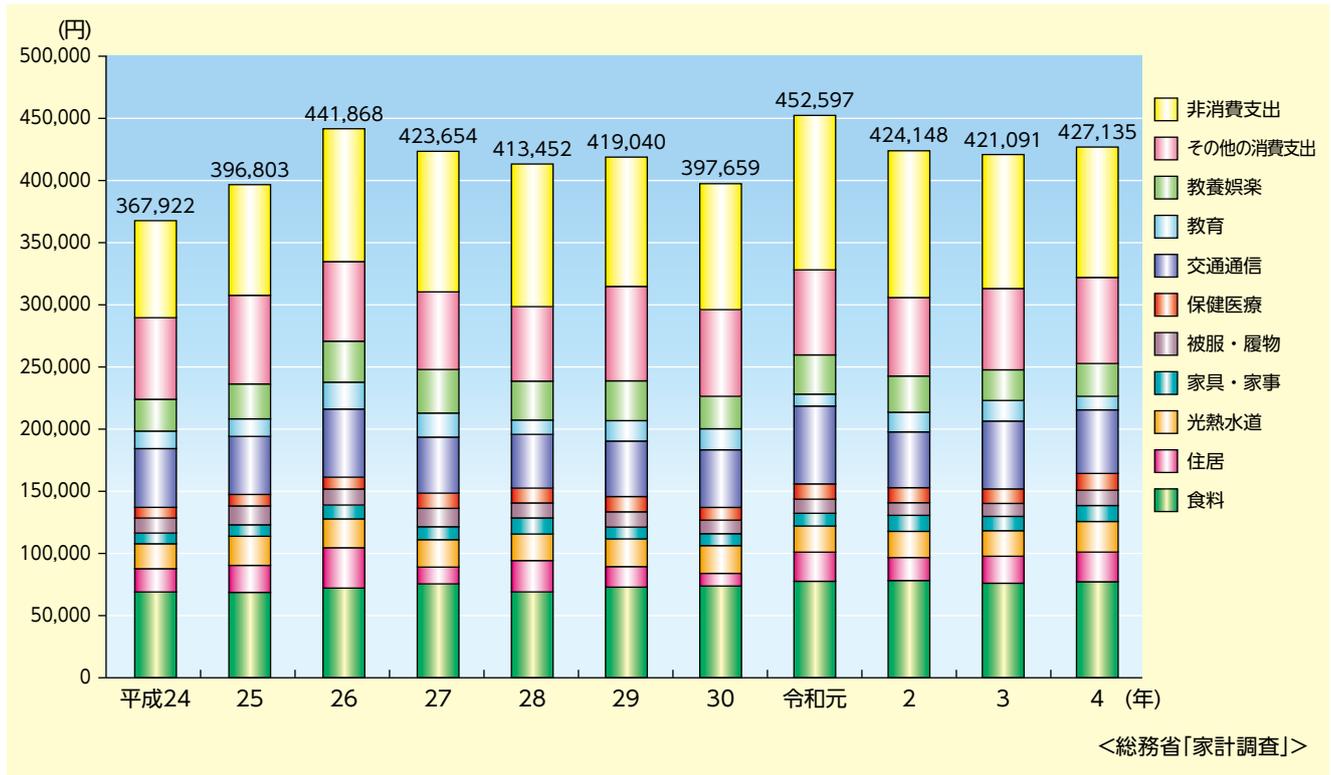


令和4年平均の甲府市の物価全体の変動を示す総合指数は、101.6(令和2年=100)となり、前年比2.3%の上昇となりました。物価水準の地域間の格差を示す地域差指数は98.9(全国平均=100)となり、物価水準の最も高い東京都区部に比べ6.6ポイント低くなっています。

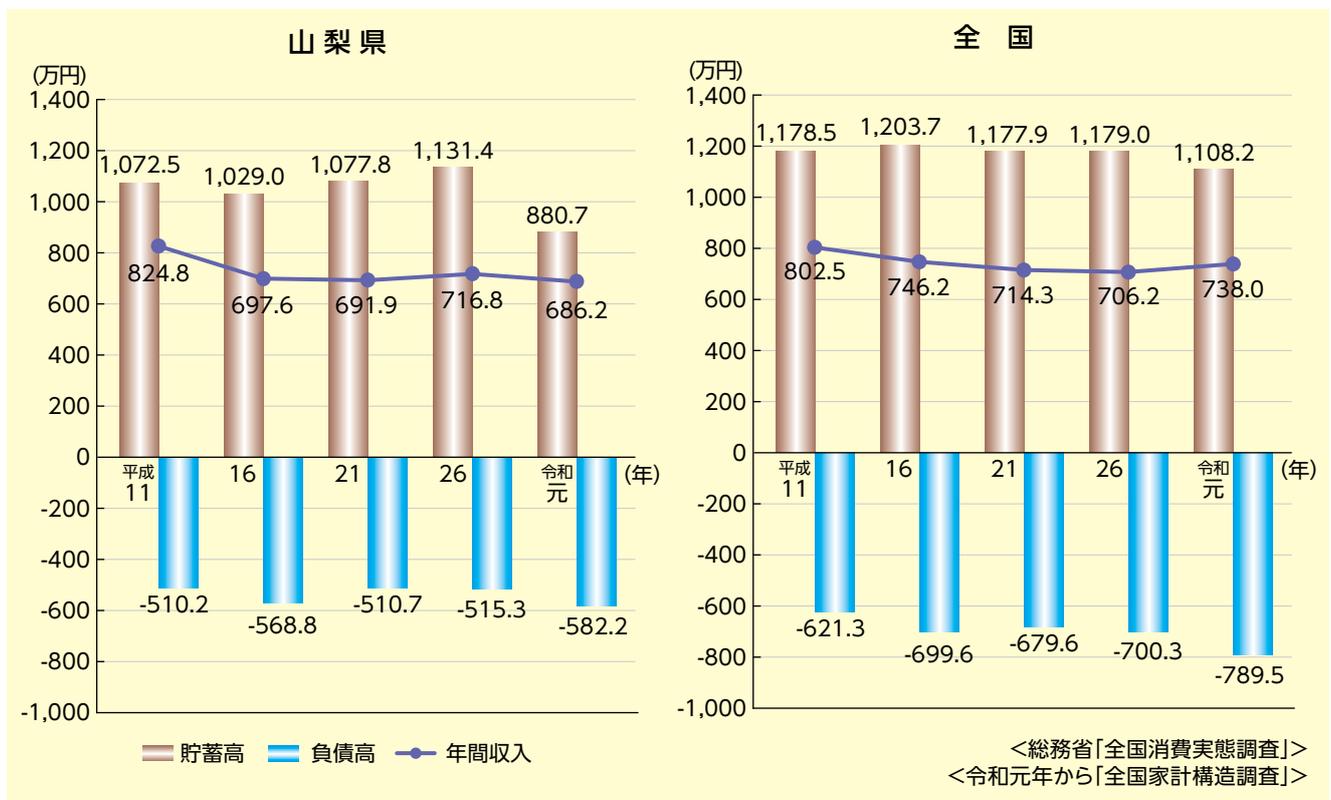
令和4年平均の小売価格を昭和45年平均と比較すると、理髪料は7.55倍、ラーメン(外食)は6.76倍、灯油(18ℓ)は5.45倍などとなっています。

# 家計

## 勤労者世帯1世帯当たり1か月間の支出(甲府市)

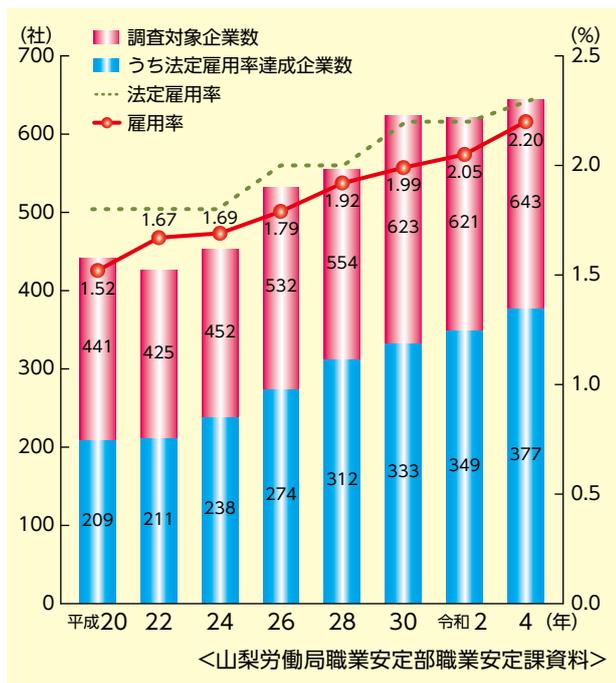


## 勤労者世帯1世帯当たり年間収入・貯蓄・負債残高の推移(各年11月末日現在)

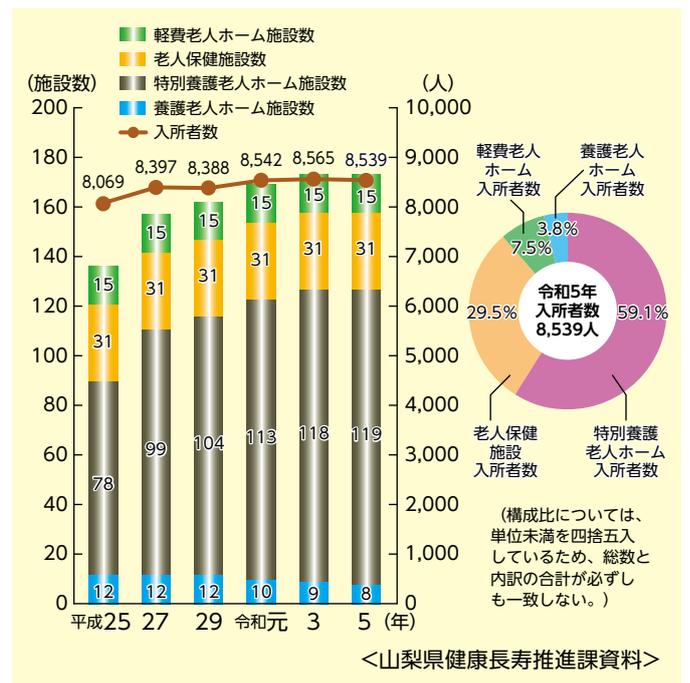


令和4年の甲府市における勤労者世帯1世帯当たり1か月間の実支出は427,135円で、所得税、住民税、年金掛金、健康保険料などの非消費支出が24.6%(104,893円)、消費支出は全体の75.4%(322,242円)となっています。  
令和元年における山梨県の勤労者世帯1世帯当たりの貯蓄現在高は880万7千円、負債現在高は582万2千円となっています。

障害者雇用率等の推移(民間企業)(各年6月1日現在)



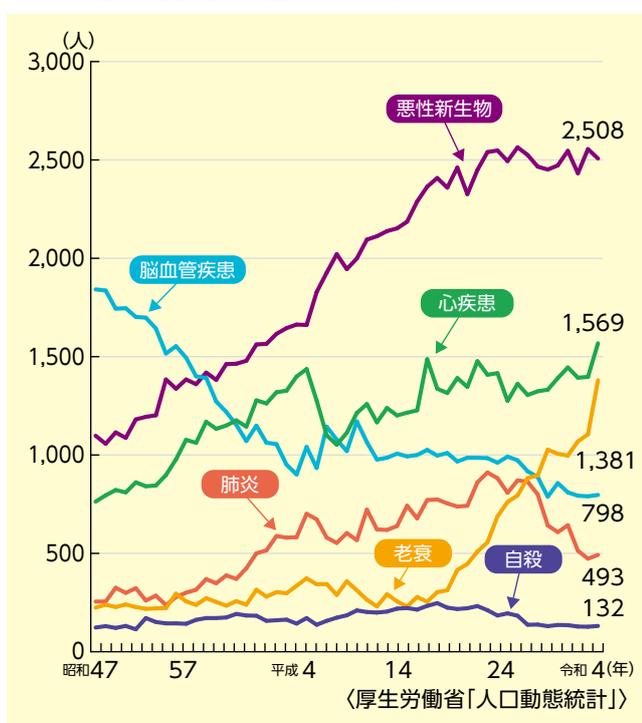
老人関係施設入所者数の推移(各年8月1日現在)



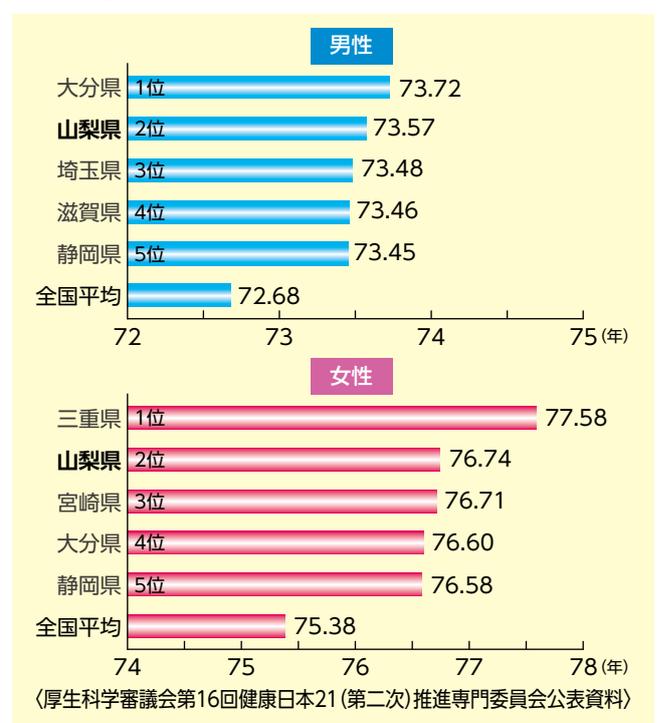
本県の障害者雇用率は令和4年6月1日現在2.20%であり、法定雇用率の2.3%を0.1ポイント下回っています。また、法定雇用率を達成している企業は377社で、達成率は58.6%となっています。

令和5年8月1日現在の老人関係施設の入所者数は8,539人で、2年前より26人(0.3%)減少しています。また、施設数は173施設で、平成25年と比べると37施設(27.2%)増加しています。

主な死因別死亡者数の推移



健康寿命(令和元年)

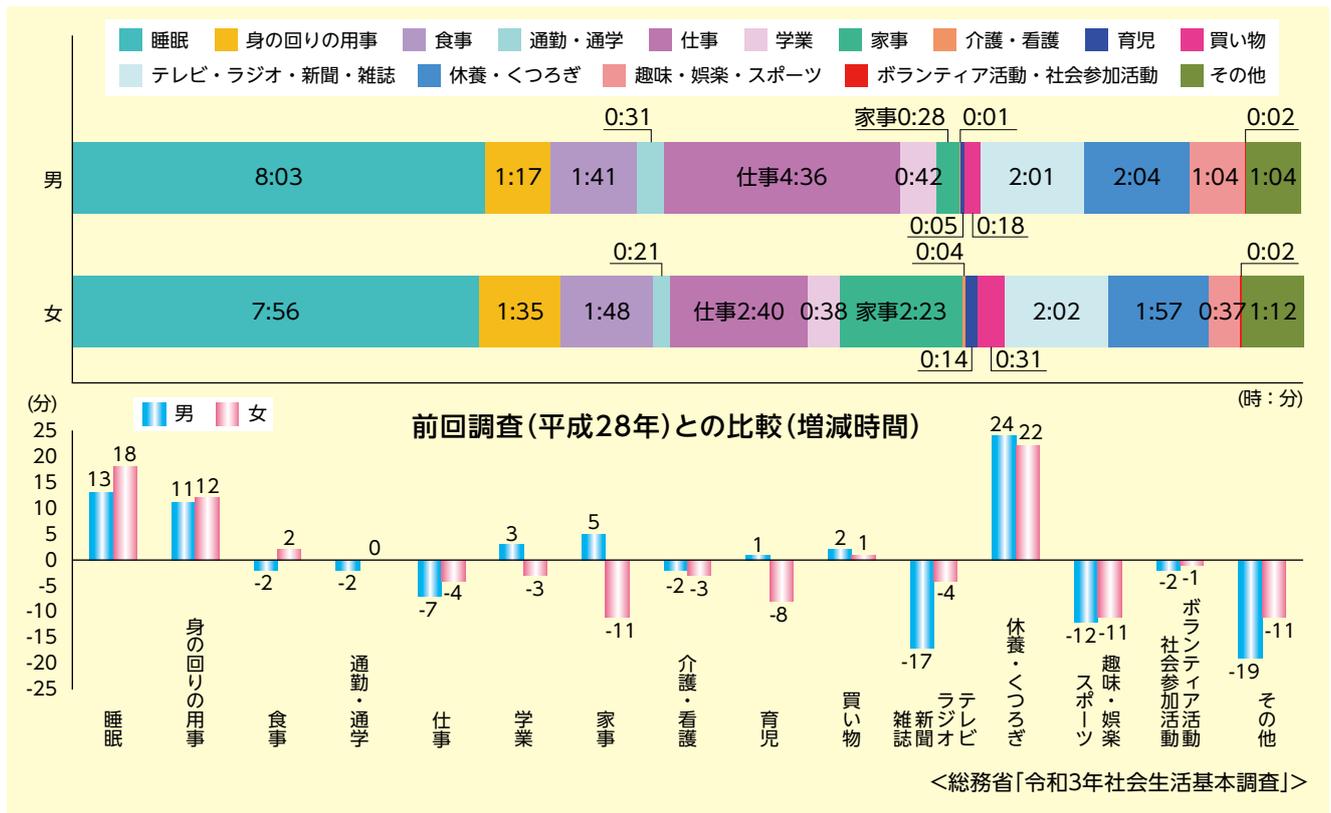


令和4年の本県の死亡者を主な死因別にみると、悪性新生物、心疾患、老衰の順となっています。

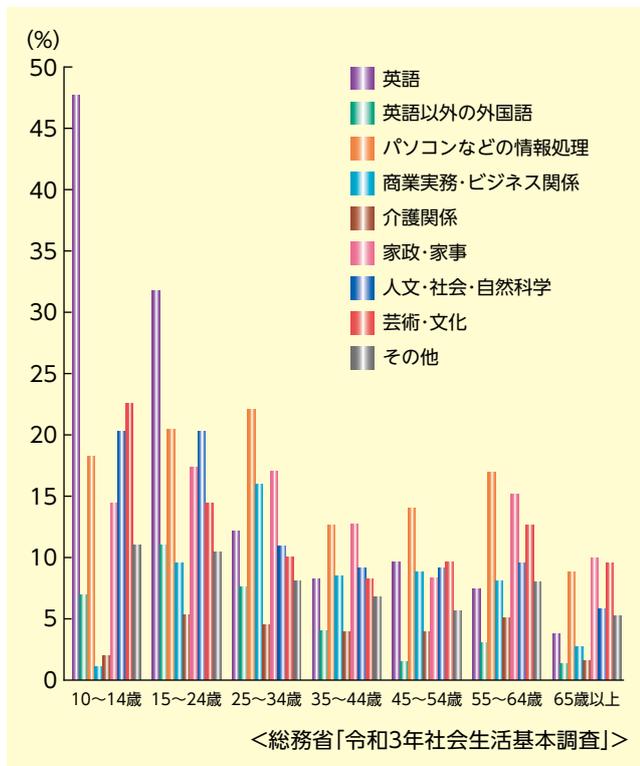
本県の健康寿命は、男性73.57年、女性76.74年で、いずれも全国平均72.68年、75.38年を上回り全国第2位です。(健康寿命とは、国の健康増進計画である健康日本21(第二次)において、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されています。)

# 社会生活

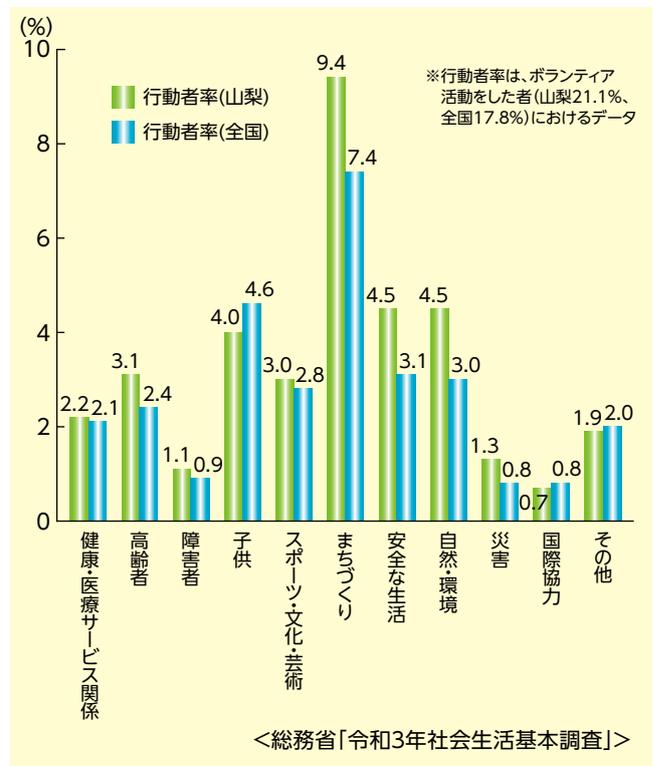
## 生活行動の種類別平均時間



## 学習・自己啓発・訓練の行動者率



## ボランティア活動

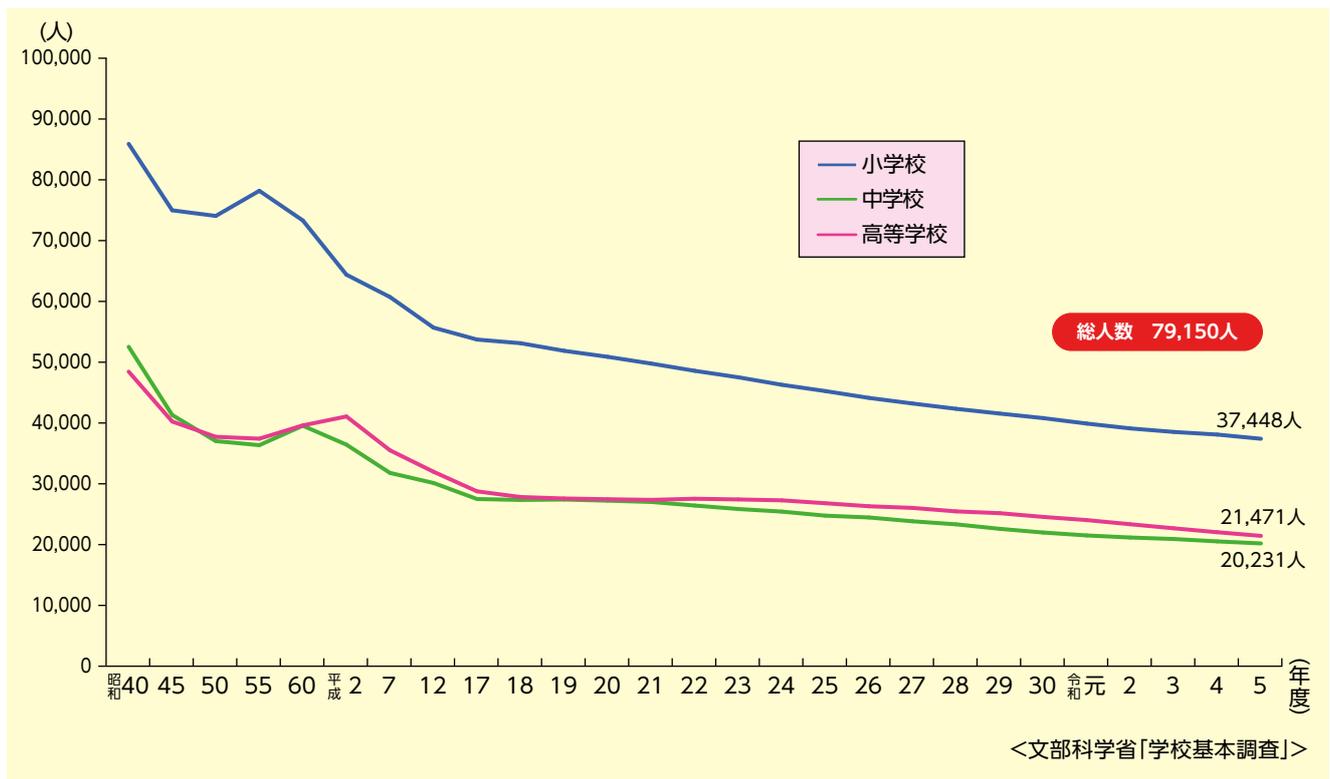


県内に住む10歳以上の男女の生活行動時間をみると、男性は仕事に費やす時間が、女性は仕事、家事に費やす時間が多くなっていますが、前回調査時(平成28年)と比べると、男性の仕事に費やす時間は7分短く、女性の家事に費やす時間も11分短くなっています。

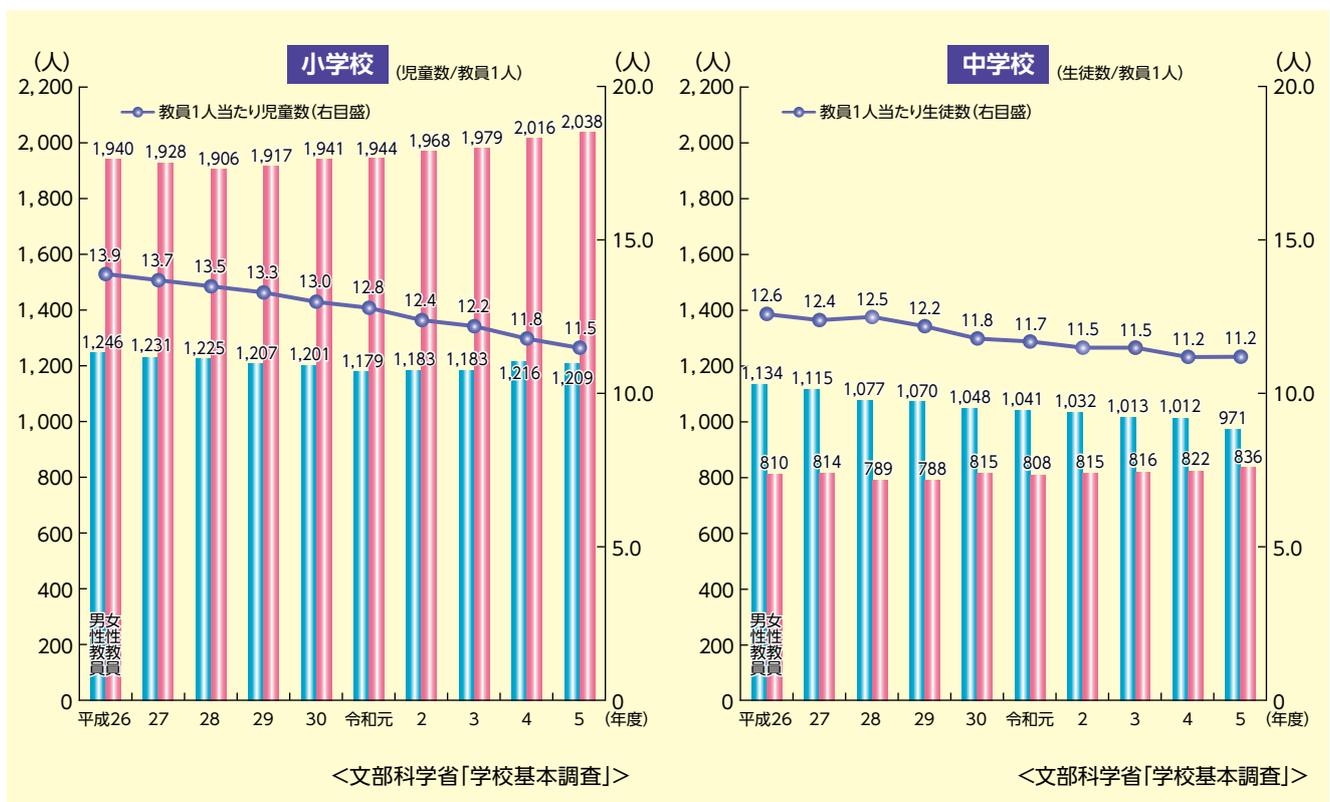
学習・自己啓発・訓練の行動者率を年齢階級別でみると、前回(平成28年)調査より10~14歳で英語、パソコンなどの情報処理、25~34歳でパソコンなどの情報処理が伸びています。

ボランティア活動の行動者率は21.1%となっており、全国(17.8%)を上回っています。

## 児童・生徒数の推移(各年5月1日現在)



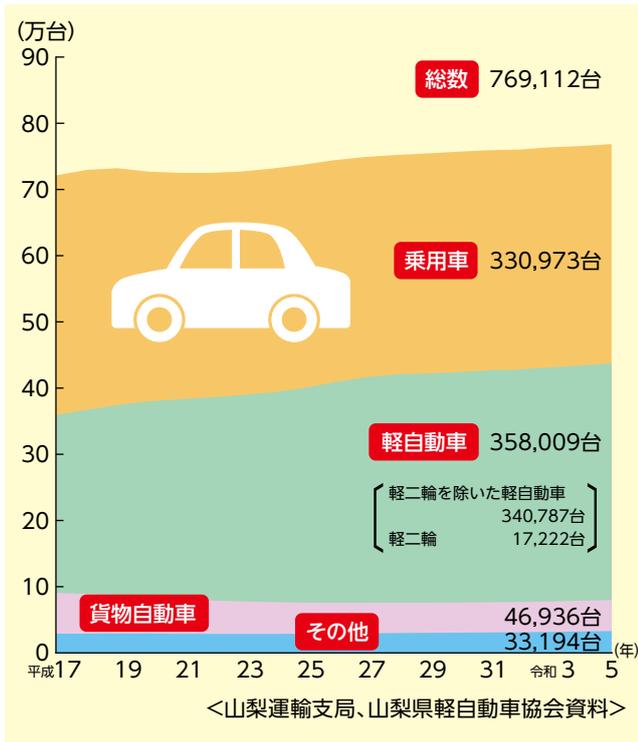
## 教員数と教員1人当たりの児童・生徒数の推移



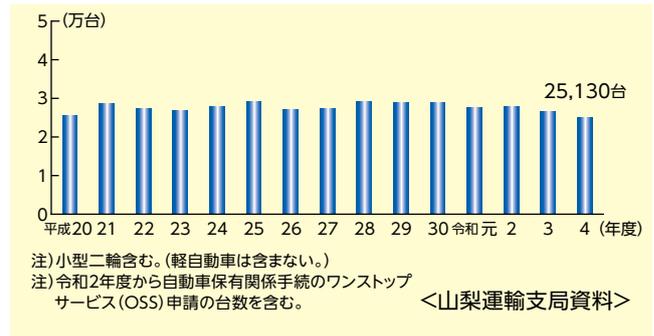
令和5年5月1日現在の児童・生徒数は、小学生37,448人、中学生20,231人、高校生21,471人となっており、児童・生徒数は、前年度に比べて減少しています。また、教員1人当たりの児童・生徒数は、小学校で11.5人、中学校で11.2人となっています。

# 交通・通信・エネルギー

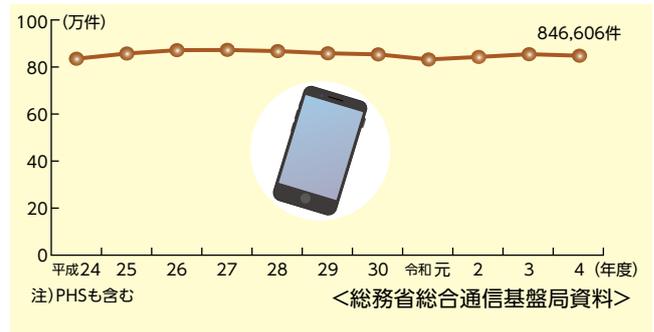
## 自動車保有台数の推移(各年3月末日現在)



## 自動車新規登録台数の推移

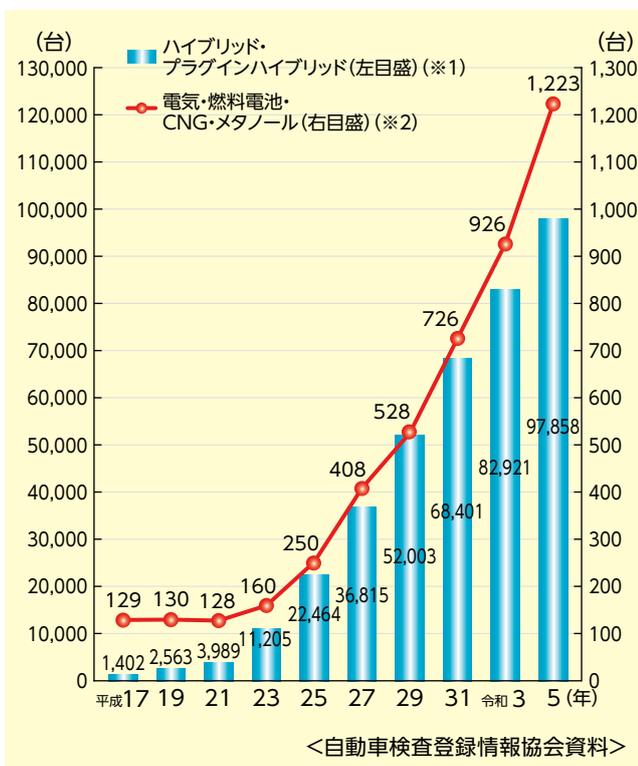


## 携帯電話契約数の推移

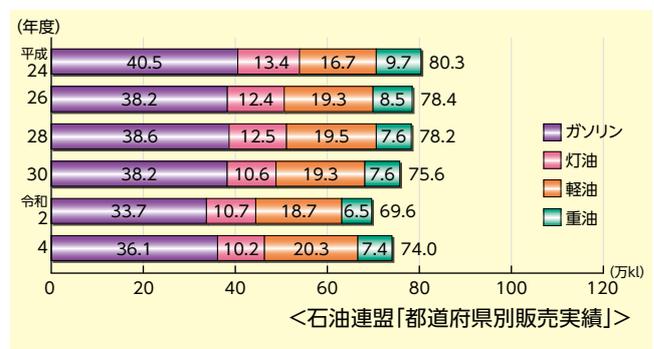


令和5年3月31日現在の本県の自動車保有台数は、769,112台で、2年前に比べて4,867台増加しています。  
令和5年3月31日現在の携帯電話・PHS契約数は846,606件で、前年に比べ6,466件減少しています。

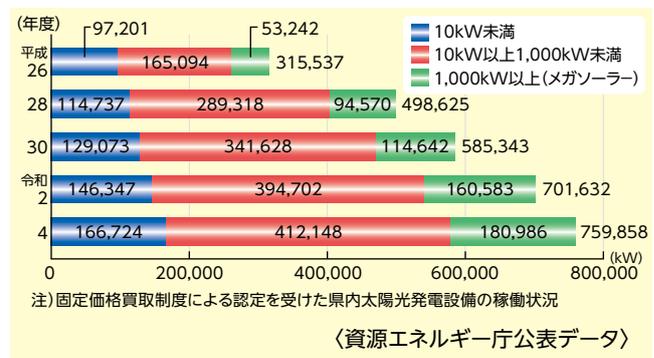
## 低公害車保有台数の推移(各年3月末日現在)



## 燃料油販売量の推移

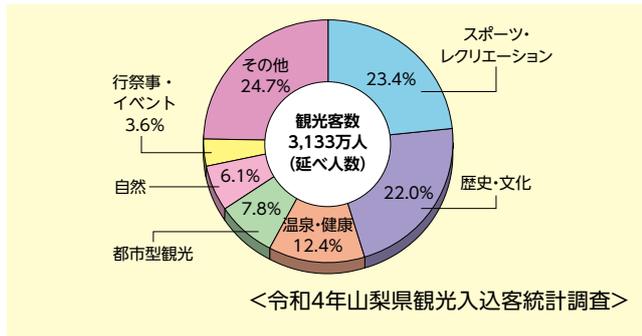


## 太陽光発電設備稼働状況(屋根置き含む)



令和5年3月31日現在の低公害車保有台数は、ハイブリッド・プラグインハイブリッドの合計※1が97,858台、電気・燃料電池・CNG・メタノールの合計※2が1,223台で、2年前に比べ※1は14,937台(18.0%)、※2は297台(32.1%)増加しています。  
令和4年度の太陽光発電設備の稼働状況は759,858kWで、平成26年度に比べ444,321kW、約2.4倍に増加しています。

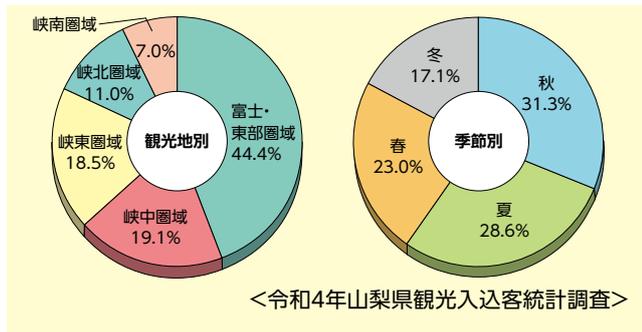
観光分類別観光客数の割合



主な観光地別観光客数



観光客数の割合 (観光地別、季節別)

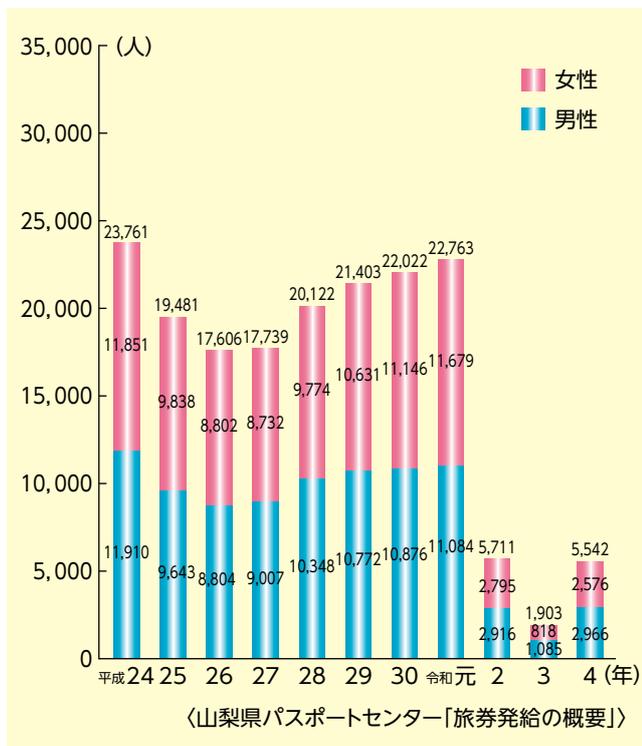


観光客数と観光消費額の推移



令和4年に本県を訪れた観光客数は、延べ人数3,133万人で、スポーツ・レクリエーションを求めて訪れる人が一番多く、次に本県の歴史・文化を求めて訪れる人が多くなっています。  
 令和4年に本県で最も多く観光客が訪れたのは、季節では秋、観光地では、富士山や富士五湖を中心とする富士・東部圏域となっています。  
 令和4年の観光消費総額は、3,066億円となっています。

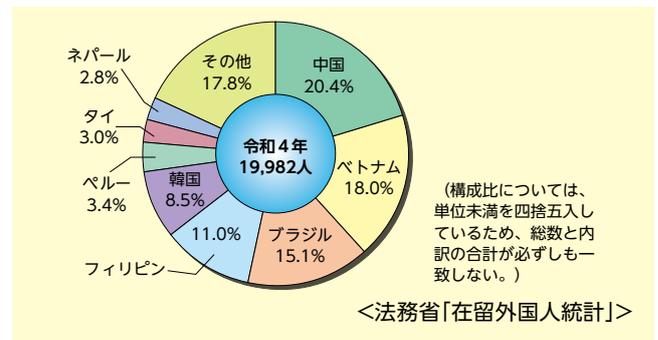
旅券発行数の推移



県内在留外国人 (旧外国人登録者) の推移 (各年12月末日現在)



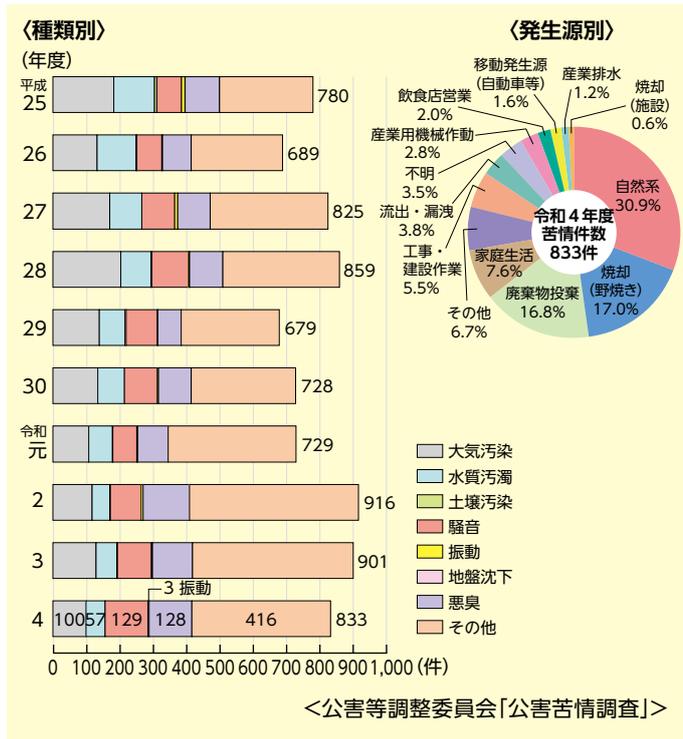
国別在留外国人割合 (令和4年12月末日)



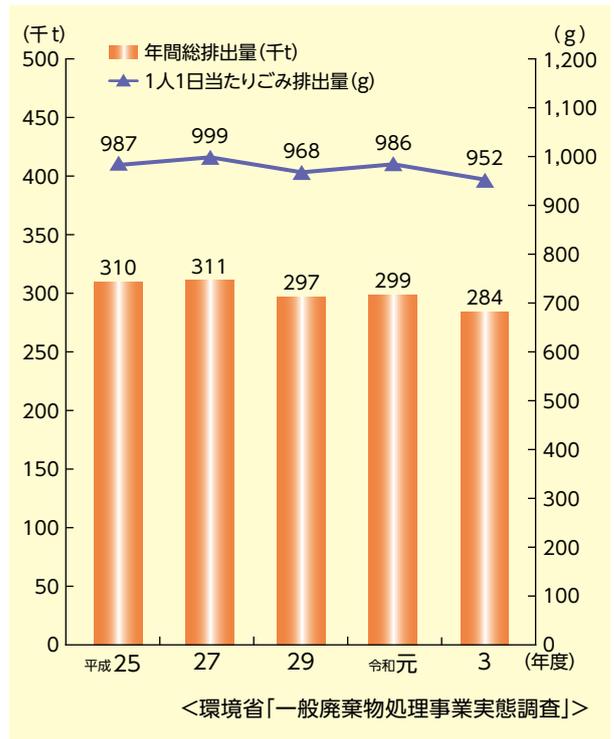
令和4年における旅券発行 (者) 数は5,542人で、前年に比べ3,639人 (191.2%) 増加しています。  
 令和4年12月末現在の県内の在留外国人数は19,982人で、国別にみると、中国が最も多く20.4%、次いでベトナム18.0%、ブラジル15.1%の順となっています。

# 居住環境

## 公害苦情件数の推移・公害苦情の具体的原因割合

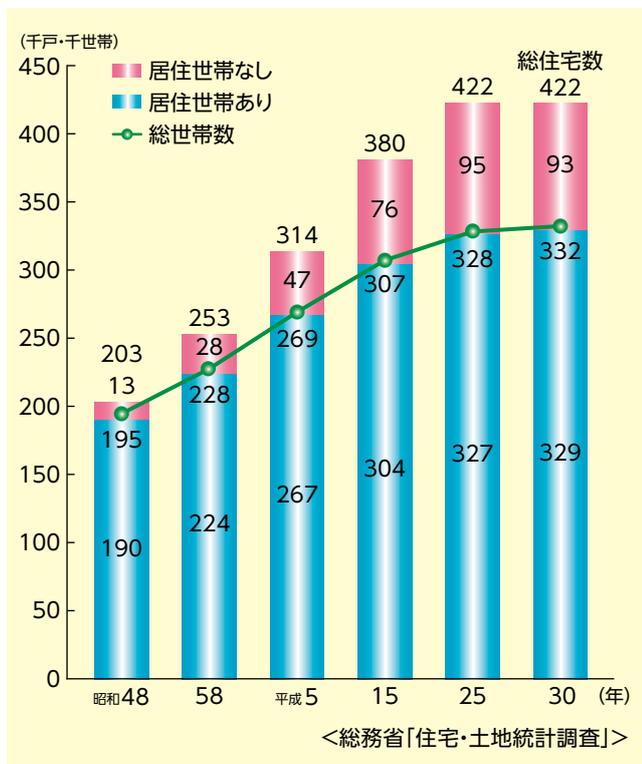


## 1人1日当たりごみ排出量と年間総排出量の推移

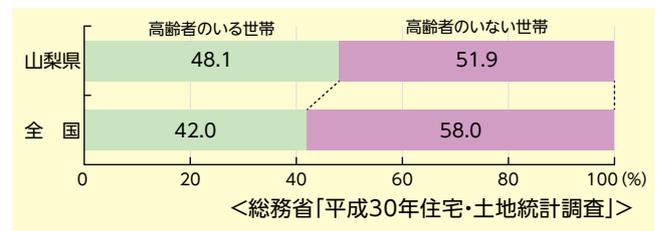


令和4年度の公害苦情件数は833件で、前年度に比べ68件減少しています。公害苦情件数を公害の種類別にみると、主な7つの公害に関する苦情が全体の50.1%を占めており、その中では、騒音、悪臭、大気汚染、水質汚濁の順となっています。

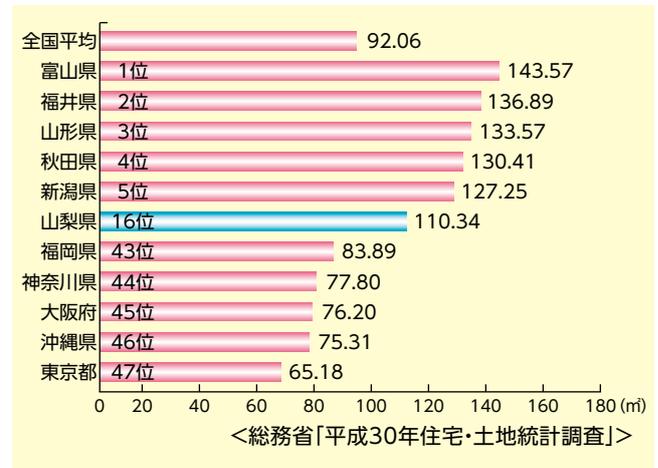
## 居住世帯の有無別住宅数・総世帯数の推移



## 高齢者のいる世帯の割合

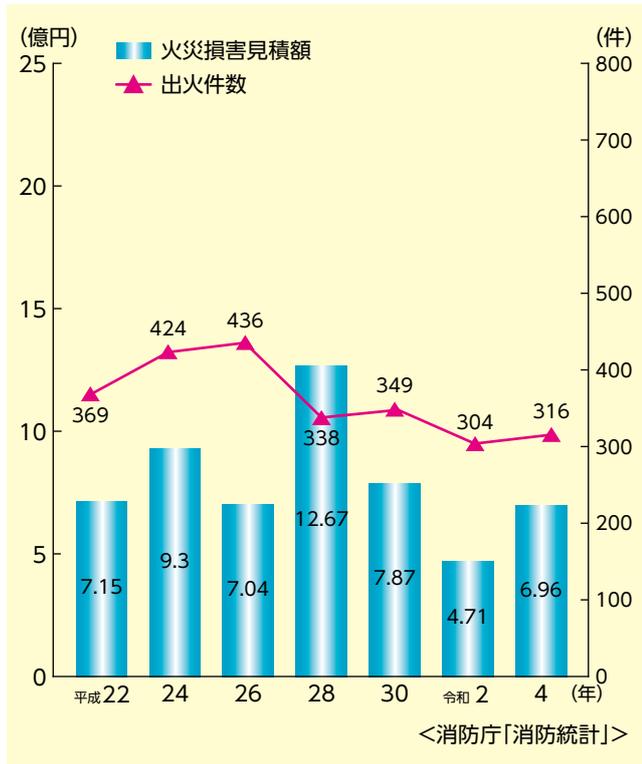


## 1住宅当たり延べ面積比較(専用住宅)

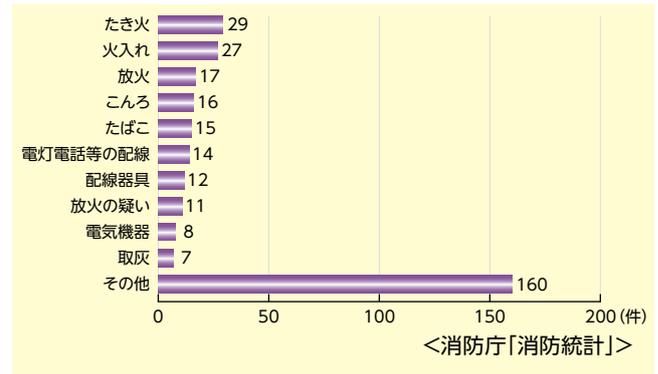


平成30年の居住世帯のある住宅数は32万9千戸、居住世帯のない住宅数は9万3千戸となっています。平成30年の本県の65歳以上の高齢者のいる世帯の割合をみると48.1%で、全国に比べて6.1ポイント高くなっています。平成30年の本県の1住宅当たり延べ面積(専用住宅)は110.34㎡で、全国平均(92.06㎡)より18.28㎡多くなっており、全国順位第16位となっています。

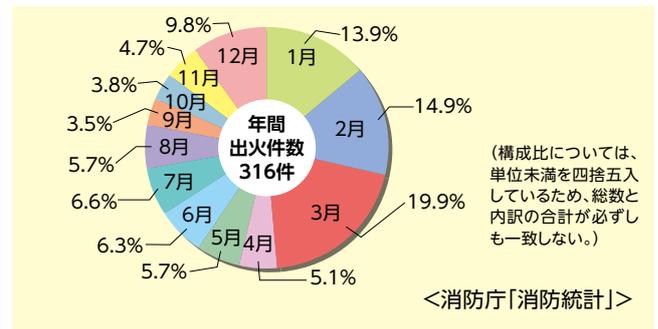
火災発生状況の推移



出火原因別・出火件数上位10位 (令和4年)

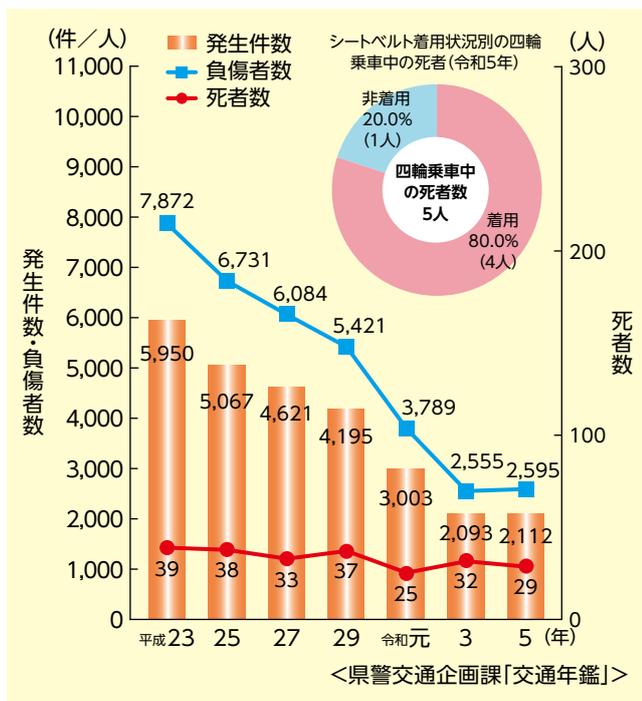


月別火災発生状況 (令和4年)

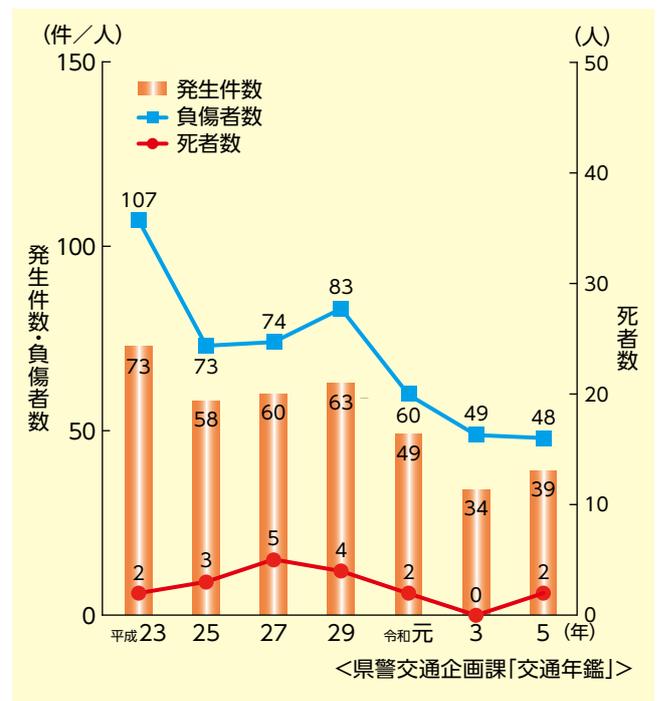


令和4年に発生した火災は316件で、2年前と比べると12件増加しています。損害見積額は、6億9,619万円です。また、令和4年中の月別火災発生件数は3月が最も多く、出火原因別・出火件数は、たき火、火入れ(枯草焼き等)、放火が多くなっています。

交通事故発生件数等の推移



飲酒運転による交通事故発生件数等の推移



令和5年の交通事故発生件数は2,112件で、2年前と比べると19件増加し、死者数は29人で、2年前と比べると3人減少しました。飲酒運転事故発生件数は39件で、2年前と比べると5件増加し、死者数は2人で、2年前と比べると2人増加しました。

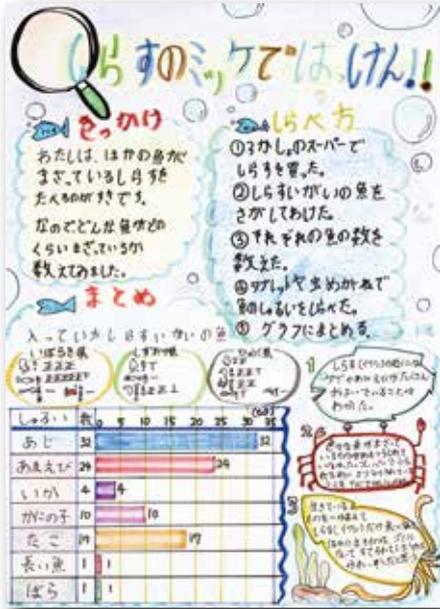
# 第71回(令和5年度)山梨県統計グラフコンクール

# 入賞作品集

身近なこと、話題になっていること、気になったことをグラフにして…  
今年度も、たくさんのすばらしい作品が集まりました。

## 第1部 (小学校1・2年生)

**知事賞** 山梨学院小学校 2年 **長安 紀京さん**

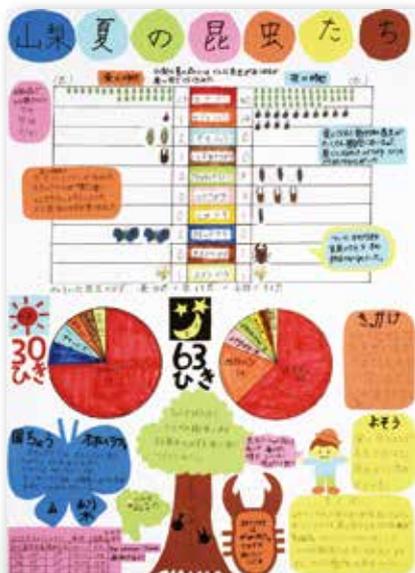


一匹一匹ていねいに数えて、  
楽しみながら調べた様子が伝わってきます。  
たくさんの魚の仲間がしらすにまぎって  
いるんですね。  
グラフもととてもわかりやすいです。

**教育長賞** 山梨学院小学校 2年 **小澤 一葵さん**



**教育長賞** 山梨学院小学校 2年 **中村 和誠さん**



昼と夜にどの昆虫が多いのか  
一目でわかるグラフです。  
考えたことや調べたことも  
たくさん書いてありますね。

身近な人にアンケートを取り、  
グラフにまとめています。  
いざという時に自分の命を  
守ってくれるヘルメット、  
しっかり着用したいですね。

**入選**

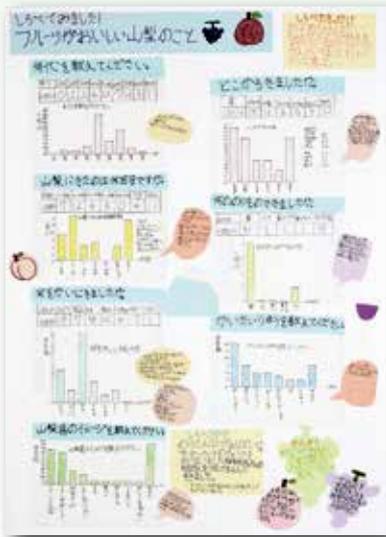
山梨学院小学校 2年

**小野 莉子さん**

**入選**

山梨学院小学校 2年

**川崎 梨央さん**



果物農家さんに見てもらいたい  
素敵な作品ですね。  
表とグラフにまとめているので  
とても分かりやすいです。

習い事についてアンケートを実施し、  
グラフなどでカラフルにまとめています。  
現代の習い事の傾向を知ることが  
できます。



**第2部 (小学校3・4年生)**

**知事賞**

山梨学院小学校 4年

**弘津 佑真さん**



全国  
コンクール  
入選

わたしたちの生活の中にこんなにも  
たくさんのマークがあって、意味があると  
いうことがよくわかるグラフです。  
細かく丁寧に作業されたことが伝わってくる  
素晴らしい作品です。

**教育長賞**

山梨学院小学校 3年

**志村 六花さん**



今年の夏は特に暑かったので、  
ここで調べたことが役に立ったことでしょう。  
画面構成も工夫されていて、楽しく見ることが  
できます。

**教育長賞**

山梨学院小学校 4年

**藤岡 柚奈さん**



横浜市まで行ってインタビューをしています。  
回答者を年齢ごとに色分けして、  
見た人にわかりやすいグラフにしています。

入選

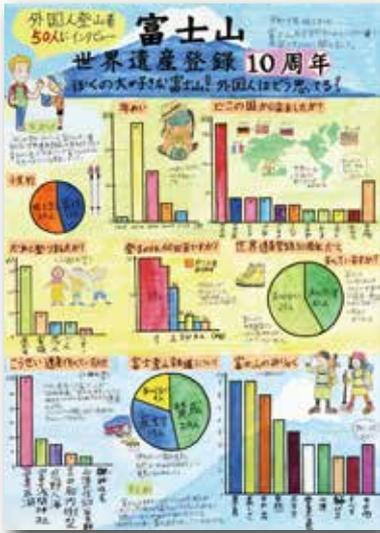
山梨学院小学校 3年

石坂 悠真さん

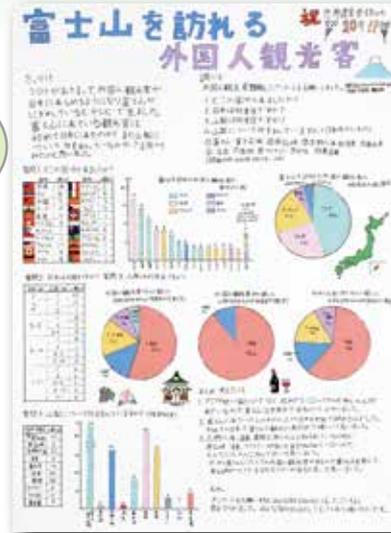
入選

山梨学院小学校 4年

津田 泉さん



外国の人たちの目線で富士山の魅力や世界遺産のことを考えることのできる素敵な統計グラフです。グラフ一つ一つの色付けもとても丁寧でカラフルで見やすいグラフです。



文章とグラフとイラストがバランスよく配置され、とても見やすく分かりやすいです。特に色の工夫がすばらしいです。

### 第3部 (小学校5・6年生)

知事賞

山梨市立八幡小学校 6年

藤木 美成さん



山梨の郷土料理について、まとめています。暖色でまとめられていて、不思議と食欲が湧いてくるようなデザインです。

入選

山梨学院小学校 6年

小林 那奈さん



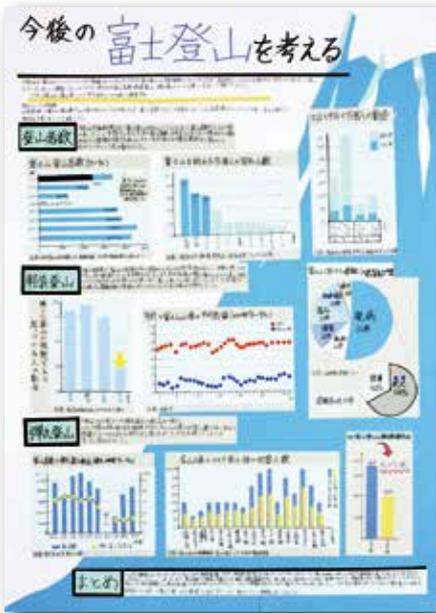
これまで学んできた様々なグラフの特徴を十分に生かして、大好きな羊のことをとてもわかりやすく表現することができましたね。

# 第4部 (中学生)

## 知事賞

山梨大学教育学部附属中学校 1年

小田 千博さん



富士登山が抱える問題点がよくわかるようグラフを効果的に使っています。富士山カラーに合わせた色使いや構成が素晴らしいです。

## 教育長賞

北杜市立甲陵中学校 2年

相山 心音さん

今注目を集めるジェンダー問題をグラフでとらえることでいろいろなことが見えてきますね。内容も表現も人目をひく素晴らしい作品です。



## 教育長賞

北杜市立甲陵中学校 2年

加賀爪 碧さん



クマを連想させる黒を背景にすることでテーマが強調され、グラフも際立っています。見た人の意識を高める作品となっています。

## 入選

駿台甲府中学校 1年

川崎 心葉さん

## 入選

駿台甲府中学校 1年

深澤 布弥さん



まるで病院内にある本物のポスターのような完成度の高い作品です。内容からも認知症の実態について深く知ることができます。

日常利用している路線バスについて統計グラフにまとめることを通して、環境や高齢者の免許返納など様々な視点で路線バスのこれからのあり方について考えをまとめていたことが素晴らしいと思います。



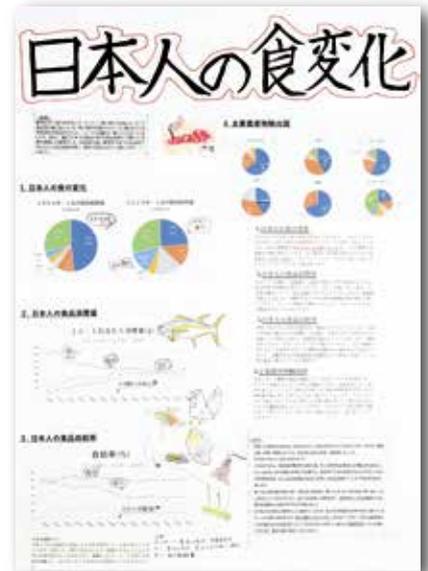
# パソコン統計グラフの部 (小学生以上)

**知事賞** 山梨学院小学校 4年 **瀧田 悠元さん**



たくさんのデータを集め、それを整理するのにパソコンを効果的に用いています。出力した後に足りないイラストを手書きで加えているのも素敵です。

**教育長賞** 駿台甲府中学校 1年 **伊藤 松来さん**



パソコンで一度作成したものを見返し、手書きでグラフの分析や強調したいところへ下線を引くなどすることで、分かりやすい作品となっています。

**教育長賞**  
山梨県立塩山高等学校 3年  
**中澤 楓子さん**  
**森山 優樹さん**



自校での取り組みがきっかけとなり、調査とまとめが進められていることやパソコンを使って、チームで協働して作成されていることなど、日々の探究的な学びの成果が表れていて素晴らしいです。

**入選** 駿台甲府中学校 1年 **井上 琥太さん** **入選** 甲府市立甲府商業高等学校 3年 **鈴木 達也さん**



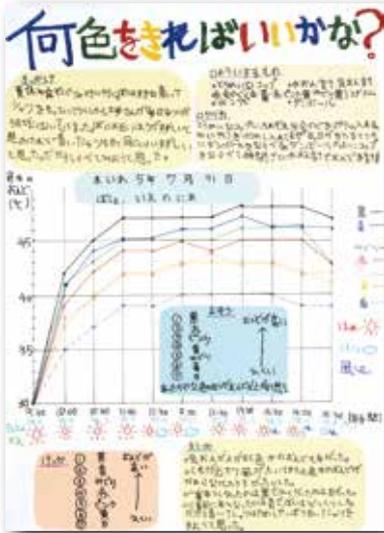
動機から芽生えた疑問を解決しようとするいろいろなデータを収集し、一つ一つ丁寧に分析をしているところが素晴らしいです。

集めた情報をどのグラフでどのように表すか、パソコンのよさを生かして考えています。それぞれのグラフに丁寧な分析があり、分かりやすいです。



# 各部門佳作

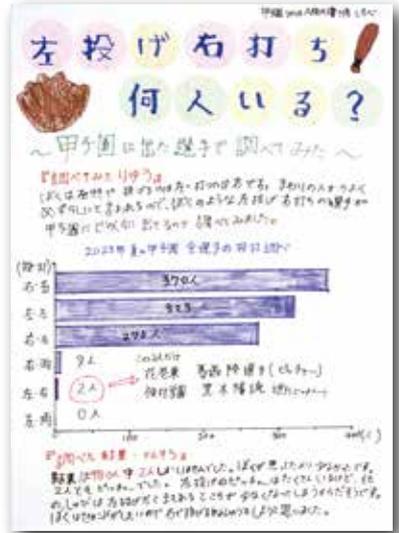
第1部 山梨学院小学校 2年  
相山 拓澄さん



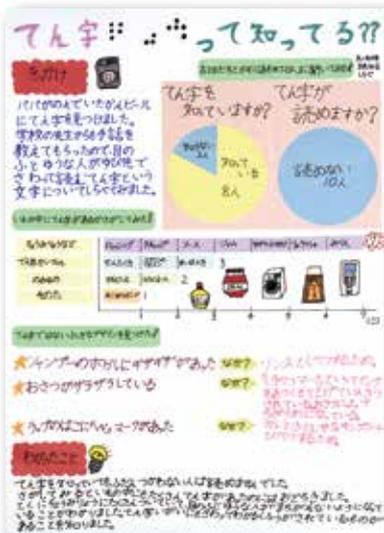
第1部 山梨学院小学校 2年  
上田 蓮さん



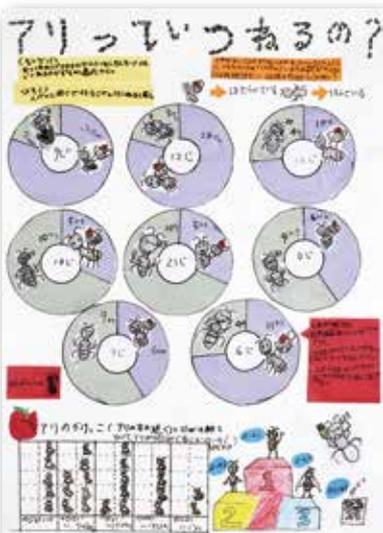
第1部 山梨学院小学校 2年  
功刀 琉さん



第1部 山梨学院小学校 2年  
小松 新奈さん



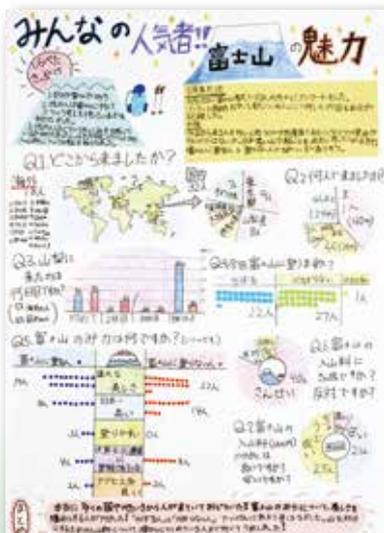
第1部 山梨学院小学校 2年  
桐 廉太郎さん



第1部 山梨学院小学校 2年  
鈴木 萌生さん



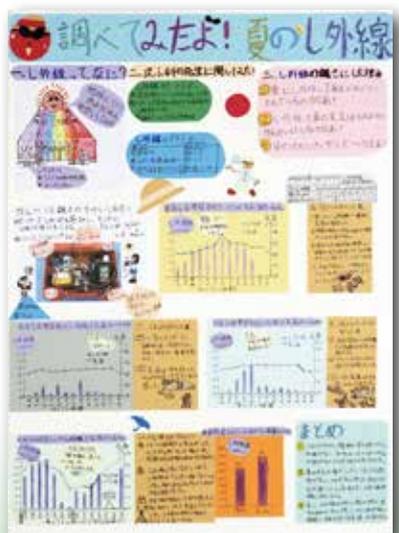
第2部 山梨学院小学校 4年  
青山 梢さん



第2部 山梨学院小学校 4年  
雨宮 楽さん

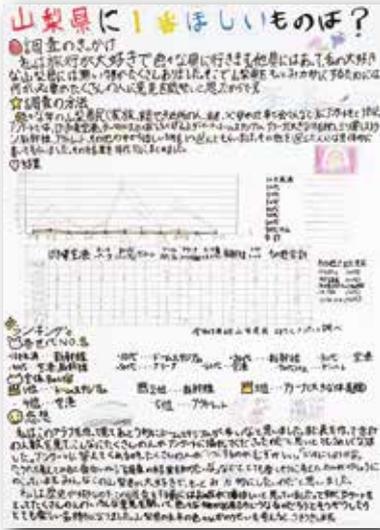


第2部 山梨学院小学校 3年  
岩間 絢さん

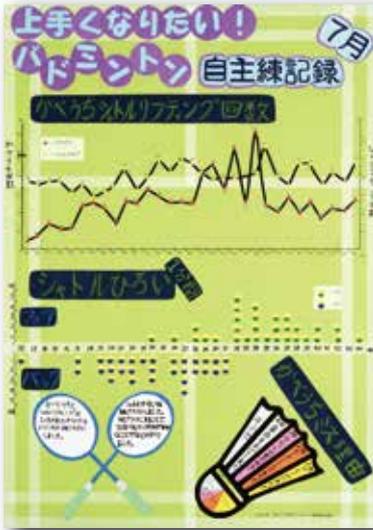


# 各部門佳作

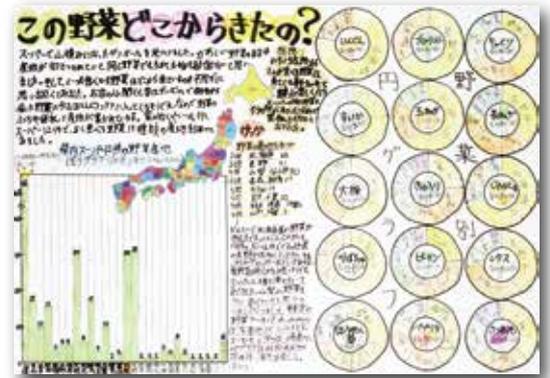
第2部 山梨学院小学校 4年  
神澤 咲音子さん



第2部 山梨学院小学校 4年  
阪上 莉歩さん



第2部 山梨学院小学校 3年  
竹中 凜さん



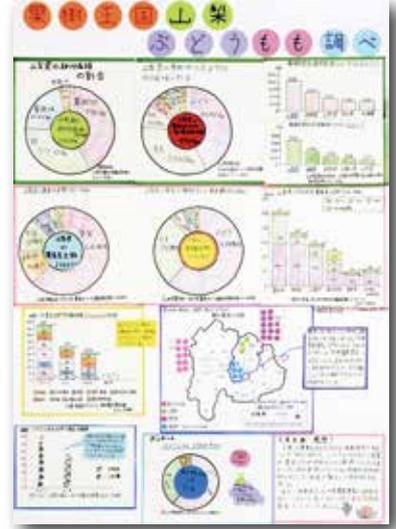
第4部 駿台甲府中学校 1年  
内田 真奈さん



第4部 駿台甲府中学校 1年  
田野倉 聡一さん



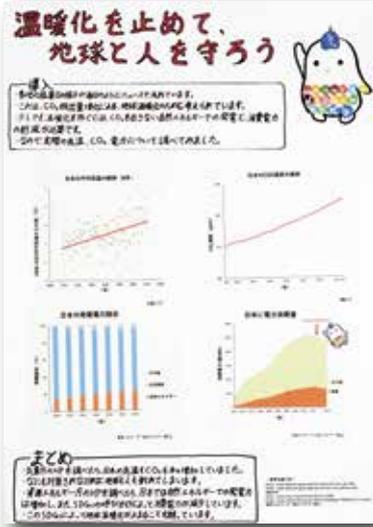
第4部 駿台甲府中学校 1年  
三澤 茜さん



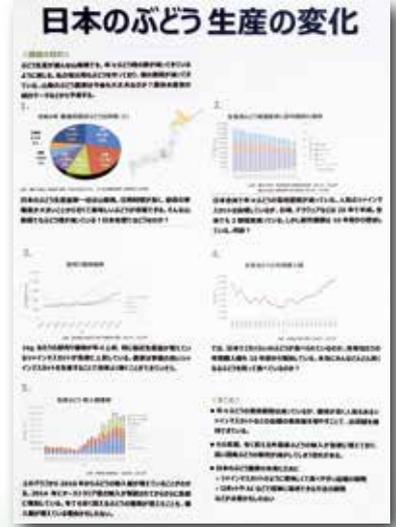
第5部 山梨県立あけぼの支援学校高等部 3年  
安原 希嵐さん 梶原 想亜羅さん  
小林 美空さん 北口 翔一さん



パソコン統計 グラフの部 駿台甲府中学校 1年  
安藤 有希さん



パソコン統計 グラフの部 駿台甲府中学校 1年  
加賀谷 郁斗さん



山梨県統計グラフコンクールは、統計グラフの作成を通して、皆さんに統計を理解し、親しんでいただくことを目的として毎年開催しており、昭和28年に第1回のコンクールがスタートしてから、今年で71回目となりました。今回は467点の応募がありました。この作品集には、各部門の知事賞5点、教育長賞8点、入選9点、佳作18点の計40点を掲載しております。

# 統計グラフコンクールに チャレンジしてみよう!!

みなさんがつくった統計グラフを募集します。  
あなたが調べて感じたことを、統計グラフにまとめてみませんか?  
県内在住・在学・在勤で小学生以上の方ならどなたでも応募できます。  
入賞作品を集めた展示会も開催します。  
入賞作品のうち優秀な作品については、全国コンクールへ出品します。  
応募者全員に参加賞をお贈りします。ふるってご応募ください!!



## 統計グラフの作成手順

### STEP 1

#### 主題(テーマ)を 決めよう

自分が調べたいことを  
決めます。



### STEP 2

#### 資料を集めよう

主題(テーマ)に  
あった資料(数値)を  
収集します。



### STEP 3

#### グラフを決めよう

データや自分が伝えたい  
内容に応じて、使用する  
グラフを決定します。



### STEP 4

#### 仕上げ

単位や目盛りに注意  
しながら、グラフを  
仕上げます。



## 応募上の留意点

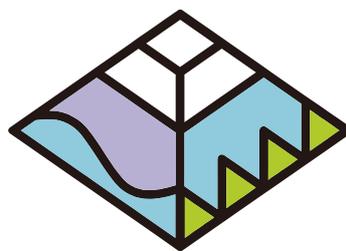
- 作品の大きさはB2判 (72.8cm×51.5cm)
- 作品は、自分で考えてつくったものに限りません。
- テーマは自由です。ただし、小学校4年生以下の児童については、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしてください。
- 5人以内なら合作でもかまいません。
- ゆるキャラや五輪マークなど、ほかの人が作成したイラストや写真を使用しないでください。
- 取材資料の出所をグラフの表面に明記してください。
- 使用した統計資料の時点を作品に明記してください。
- 例年6月に作品募集開始になります。詳しい応募要領は、6月以降に、下記「やまなしの統計」ホームページを確認のうえ、ご応募ください。

完成



過去の入賞作品や応募方法については、山梨県統計調査課HPをご覧ください。  
自分の作品を多くの県民のみなさんに見てもらおうチャンスです。ふるってご応募ください。

「山梨県統計調査課」ホームページ <https://www.pref.yamanashi.jp/toukei/>



YAMANASHI

**「統計からみたやまなしー令和5年度ー」**

**令和6年3月発行**

**山梨県県民生活部統計調査課**

〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6-1

☎055(223)1340

URL <https://www.pref.yamanashi.jp/toukei/>